

内部評価結果調書（施策評価 1 2）

施策名	社会教育・スポーツの充実
-----	--------------

担当部署	担当部署長の氏名
教育委員会事務局	吉岡喜代和

PLAN

総合計画(前期基本計画)

基本方針	(政策)	IV 生涯学習都市			
計画項目	(施策)	④ 社会教育・スポーツの充実			
施策目的	(何を対象に、どのようにすることを目的としているか)	地域・地区公民館を中心として、地域住民のニーズや年齢及び課題に応じた学習機会の提供と文化、スポーツ、レクリエーションを通じた住民交流を促進する。また、社会教育・社会体育施設・設備の充実を図り、生涯学習の環境整備を推進する。			
めざす目標	だれもがいつでも学べる環境をめざします	指標名	総合計画策定時(H17)	前期基本計画最終実績値	目標
		地区公民館の適正配置	45カ所 H16	45カ所 H21	概ね各小学校区に1カ所 H26
		スポーツ実施率の向上	未調査 H16	未調査 H21	週1回、50% (全市民) H26
※参考 後期基本計画 めざす目標	だれもがいつでも学び活動できる環境をめざします	指標名	総合計画策定時(H17)	後期基本計画策定時	目標
		地区公民館の適正配置	45カ所 H16	45カ所 H20	公民館体制及び運営に関する基本計画に定める数
		スポーツ実施率	未調査 H16	24.8% H17	週1回、50% (成人) H26

DO

平成21年度実績

施策方針	事務事業	事務事業評価の結果						担当課
		H21決算額 (千円)	内、 一般財源 (千円)	目標 達成度	効率性	事業内容 の方向性	事業規模 の方向性	
1 社会教育体制の確立	1 社会教育委員設置事業	789	789	▲	○	維持	拡大	社会
	教育委員会からの諮問に応じて、答申のための調査研究及び意見交換を行ない、中間報告書を提出							
	2 社会教育指導員設置事業	22,227	22,227	○	○	維持	維持	社会
	社会教育指導員を社会教育課へ1名及び各地域公民館へ8名配置し、社会教育団体に対し指導助言							
	3 峰山地域公民館管理事業	7,569	6,743	×	○	維持	拡大	社会
	4 大宮地域公民館管理事業	261	261	○	○	維持	維持	社会
	5 網野地域公民館管理事業	387	387	○	○	維持	維持	社会
	6 丹後地域公民館管理事業	7,061	6,949	▲	○	維持	維持	社会
	7 弥栄地域公民館管理事業	3,253	3,150	▲	○	維持	拡大	社会
	8 久美浜地域公民館管理事業	1,713	1,713	○	○	維持	維持	社会
	上記3～8……各地域公民館の施設・設備の維持管理							
	9 峰山地域公民館運営事業	3,656	3,285	○	○	維持	拡大	社会
	10 大宮地域公民館運営事業	2,680	2,643	○	○	見直し	拡大	社会
	11 網野地域公民館運営事業	3,170	3,096	○	○	見直し	維持	社会
	12 丹後地域公民館運営事業	2,515	2,494	○	○	見直し	拡大	社会
	13 弥栄地域公民館運営事業	2,625	2,587	○	○	維持	拡大	社会
	14 久美浜地域公民館運営事業	2,789	2,789	○	○	見直し	拡大	社会
	上記9～14……各地域公民館において、青少年教育事業、成人教育事業、高齢者教育事業などを実施							
	15 地区公民館管理運営事業	43,576	43,180	○	○	維持	維持	社会
各地区公民館において、地域課題に対応した学習機会の提供及び市民交流事業を実施								
16 体育指導委員活動事業	3,839	3,839	○	○	維持	維持	社会	
体育指導委員に対しファミリーバドミントン・パタンクなどの講習会、市民に対しニュースポーツの講習会・大会を実施								
17 社会体育団体育成事業	16,982	16,982	○	○	維持	維持	社会	
市のスポーツ・体育振興の中心的な組織である京丹后市体育協会に対し、1,523万円の財政支援								
18 京都府民総合体育大会事業	1,602	1,602	○	○	維持	拡大	社会	
京都府民総合体育大会への選手団の派遣のため、京丹后市体育協会に対し、160万円の財政支援								
19 市民体育大会事業	3,300	3,300	○	○	維持	維持	社会	
京丹后市総合体育大会の実施のため、京丹后市体育協会に対し330万円の財政支援。17競技に2,035人参加								

	20	地域スポーツ振興事業	4,707	4,707	○	○	維持	維持	社会
		地域の特性を生かしたスポーツ教室の実施。また、網野スポーツ祭、あみの八丁浜ロードレース大会への財政支援							
	21	青少年スポーツ教室事業	3,172	3,172	○	○	維持	維持	社会
		青少年に対し、市内で59のスポーツ教室を実施							
	22	全国高等学校総合体育大会開催事業	10,250	10,150	○	○	廃止等	維持	社会
		久美浜湾カヌーレーシング競技場において、全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会を開催							
	23	体育施設管理運営事業	32,224	29,149	○	○	維持	維持	社会
		社会体育施設の維持管理							
	24	社会体育用学校開放施設管理運営事業	2,724	0	○	○	維持	維持	社会
		学校教育に支障のない範囲で学校施設を開放							
2 図書館ネットワークの確立	25	図書館管理運営事業	48,673	46,362	○	○	維持	拡大	社会
		利用者ニーズ、話題性、資料的価値観等を考慮した図書館資料を購入し、利用者に提供。貸出点数 421,337点							
3 生涯学習推進体制の整備	26	障害者教育事業	239	239	▲	○	見直し	拡大	社会
		視覚障害者及び聴覚障害者を対象とした体験実習と環境学習・応急手当講習などの研修会を実施							
	27	成人教育事業	408	408	○	○	維持	維持	社会
		各種の趣味教養講座(IT講習会、デッサンなど)や、学習講座などを実施。8事業(65回);延べ616名が参加							
	28	女性教育事業	486	486	▲	○	維持	維持	社会
		京丹後市連合婦人会及び網野生活学校への活動支援、女性講座の開設。3事業(11回);延べ121名が参加							
	29	高齢者教育事業	85	85	▲	○	維持	拡大	社会
		高齢者の社会参加と人材の養成を図るため「生涯学習ボランティア養成講座」を実施。1事業(4回);延べ80名							
	30	家庭教育事業	1,567	1,163	○	○	維持	拡大	社会
		子育て学習会や親子ふれあい事業を関係機関と連携し実施。子育て学習会 33回;延べ1,976名の参加 他							
	31	芸術文化事業	33,009	32,429	○	○	見直し	拡大	社会
京都府丹後文化会館及び峰山地域公民館を会場に市総合文化祭(ステージ、展示)を実施 他									
32	峰山いさなご施設管理運営事業	7,690	6,173	○	○	見直し	維持	社会	
	施設管理及び木工・陶芸講座の実施。屋根付ゲートボール場・会議室の貸出。利用者数15,385人								
33	マスターズビレッジ管理運営事業	17,825	15,797	○	○	見直し	維持	社会	
	陶芸、染色の指導。施設管理及び展示室・会議室の貸出。ふれあいスポーツ広場の貸出。利用者数8,426人								
34	たちばな会館管理運営事業	1,449	1,449	○	○	維持	維持	社会	
	たちばな会館の維持管理。会議室等 385回 延4,812人/ 図書室 開館247日 利用者366人 貸出2,172冊								
35	網野教育会館管理運営事業	6,477	6,477	○	○	見直し	維持	社会	
	網野教育会館の維持管理。平成21年度から地元郷区へ業務委託。								
計			300,979	286,262					



## CHECK

①施策の達成度 施策目的・めざす目標に向け、施策がどの程度達成されているか			
▲	◎ 予定以上に進んでいる	理由 市民のだれもがいつでもどこでも必要に応じて学習や交流ができる生涯学習環境の中核となる公民館・図書館及びその他の社会教育施設と社会体育施設の運営体制における条件整備が不十分である。	
	○ 予定どおり進んでいる		
	▲ 少し遅れている		
	× 大幅に遅れている		
②事業構成の有効性 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、平成21年度に実施した事務事業の構成が有効であったか			
○	◎ 有効であった	理由 市民のさまざまなニーズに応えることができる効果的な事業の実施にはまだ不十分であるが、施策の目的達成に向けた事業は実施することができ、事業の内容はおおむね有効であった。	
	○ おおむね有効であった		
	▲ あまり有効でなかった		
	× 有効でなかった		
③事業の優先度 施策目的の実現と、めざす目標の達成のために、今後、優先度の高い事業と、優先度の低い事業は何か ※経常的及び任意的な事業の中から選出。(選出対象外:事務事業22)			
評価	事務事業		理由
	9~14	地域公民館運営事業	生涯学習を進める拠点施設であり、市民の身近な学習と交流の場を確保するために重要な事業である。
	17	社会体育団体体育成事業	市民の自主的かつ継続的なスポーツ活動を進めるために重要な事業である。
	20	地域スポーツ振興事業	市民のスポーツを通じた健康づくりと交流を促進するために重要な事業である。
優先度高い	25	図書館管理運営事業	生涯学習を進める拠点施設であり、市民の自主的かつ自発的な生涯学習の場を確保するために重要な事業である。

優先度 低い	30	家庭教育事業	子どもの成長過程の基礎となる重要な社会教育事業である。
	31	芸術文化事業	市民の芸術文化活動を通じた交流及び自主的かつ継続的な活動を推進するために重要な事業である。
	事務事業		理由
	3~8	地域公民館管理事業	日常的な最小限の維持管理のための事業である。
	23	体育施設管理運営事業	日常的な最小限の維持管理のための事業である。
	24	社会体育用学校開放施設管理運営事業	日常的な最小限の維持管理のための事業である。
	29	高齢者教育事業	高齢者を対象とした各種事業の整理、再編が可能。
	34	たちばな会館管理運営事業	日常的な最小限の維持管理のための事業である。
	35	網野教育会館管理運営事業	日常的な最小限の維持管理のための事業である。

**ACTION**



改善	今後の施策展開をどうするか
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市民の生涯学習の拠点となる地域公民館及び身近な学習と交流の場となる地区公民館の推進体制の整備及び再編を進める。</li> <li>○ 公民館管理経費の負担について、見直しを進める。</li> <li>○ 市民一人ひとりが生きがいのある充実した人生を送るため、市民の多様なニーズに対応するさまざまな学習機会の提供を目指した生涯学習計画の策定を検討する。</li> <li>○ 市民の健康づくりや地域のスポーツ振興を図るため、社会体育施設、設備の充実及び適切な維持管理を行う。</li> <li>○ 成人教育事業と高齢者教育事業など、一部内容等が重複している事業は内容の整理を行うとともに、環境や福祉など他部局の事業と内容等が重複している部分がある事業については、部局を越えて再編等について協議を進める。</li> <li>○ 「図書館管理運営事業」のアウトソーシングについて、他市の状況を踏まえ検討課題とする。</li> </ul>

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-1

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	02	01
細事業名		社会教育委員設置事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	土出 政信

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市が行う社会教育行政全般について、調査及び審議を行い市民の声を反映した社会教育の推進を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 社会教育の現状と課題について協議するとともに、教育委員会からの諮問に応じて、答申のための調査研究及び意見交換を行ない、中間報告書を提出した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	1	552	国庫支出金		
	9	148	府支出金		
	11	12	起債		
	14	12	分担金・負担金		
	19	65	その他		
事業費合計		789	合計		789

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 課題が多いなかで、協議できる会議の回数が限られているため、方向性を見出すまでの十分な検討ができていない。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 課題が多いなかで、協議できる会議の回数が限られているため、方向性を見出すまでの十分な検討ができていない。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 課題が多いなかで、協議できる会議の回数が限られているため、方向性を見出すまでの十分な検討ができていない。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 会議の回数及び研修機会の確保は必要最小限であり、削減の余地はなかった。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由 会議の回数及び研修機会の確保は必要最小限であり、削減の余地はなかった。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由 会議の回数及び研修機会の確保は必要最小限であり、削減の余地はなかった。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 社会教育法第15条の規定に基づき設置するものであり、市民の意向を反映した社会教育行政を進めるために必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 社会教育法第15条の規定に基づき設置するものであり、市民の意向を反映した社会教育行政を進めるために必要である。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 社会教育法第15条の規定に基づき設置するものであり、市民の意向を反映した社会教育行政を進めるために必要である。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 市民のニーズにあった社会教育を推進するため、引き続き社会教育委員を設置し、協議ができる会議の回数を拡大する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由 市民のニーズにあった社会教育を推進するため、引き続き社会教育委員を設置し、協議ができる会議の回数を拡大する。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由 市民のニーズにあった社会教育を推進するため、引き続き社会教育委員を設置し、協議ができる会議の回数を拡大する。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-2

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	03	01
細事業名		社会教育指導員設置事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	土出 政信

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 社会教育の推進体制を整備するため、社会教育課及び各地域公民館に社会教育指導員を設置し、事業を積極的に展開することにより、社会教育活動の充実を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 社会教育事業に対する住民ニーズの多様化に対応するため、専門的な技能を有する社会教育指導員を社会教育課へ1名及び各地域公民館へ8名配置し、各種事業の企画立案、運営、社会教育団体に対する指導助言など積極的に行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市文化協会の設立及び支部体制(6支部)の確立 市内青少年育成団体の運営(6団体)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	1	18,981	財源内訳	国庫支出金	
	4	2,690		府支出金	
	9	556		起債	
				分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	22,227	
事業費合計		22,227	合計		22,227

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 社会教育事業の企画立案及び効果的な運営と社会教育団体の育成を図ることができた。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 必要最小限の配置であり、削減の余地はなかった。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行なう。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 住民のニーズに応える社会教育を推進するため、引き続き10名の社会教育指導員を設置する。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-3

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	01
細事業名		峰山地域公民館管理事業				

担当部局	
教育委員会事務局	
担当課等	担当課長の氏名
社会教育課	安達 忠行
	担当者の氏名
	中村 孝幸

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実	
	施策方針	1 社会教育体制の確立	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	峰山地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	年間利用者数 2,492件 48,637人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	3,430	国庫支出金		
	12	179	府支出金		
	13	3,830	起債		
	14	15	分担金・負担金		
	15	53	その他	使用料	645
	18	60		上下水道料金負担金	181
	19	2			
事業費合計		7,569	合計		7,569

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか		
	×	○ 進捗している(できている)	理由 昭和55年建設以来、各箇所の修繕が必要となっているが、予算が不足しているため。
		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
		× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○ 削減の余地がなかった	理由 節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。	
	▲ 少し削減の余地があった		
	× 削減の余地があった		

改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	A	A 事業拡大	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため
B 現状維持			
C 事業縮小			



平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-4

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	02
細事業名	大宮地域公民館管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	水口 規宏

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実	
	施策方針	1 社会教育体制の確立	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	大宮地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	事務に支障をきたさない程度の事務環境を維持することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	11	55	財源内訳	国庫支出金		
	14	206		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		261
				合計		261
	事業費合計			261	合計	

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○	理由 事務に支障をきたさない程度の事務環境を維持することができた。
	○	理由 反故紙の利用等、可能な経費節減に努めた。
	○	理由 反故紙の利用等、可能な経費節減に努めた。
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○	理由 反故紙の利用等、可能な経費節減に努めた。	

改善	事業内容の方向性	
	A	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
	B	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
	C	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
	事業規模の方向性	
	B	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-5

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	03
細事業名	網野地域公民館管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	椋平 哲朗

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実	
	施策方針	1 社会教育体制の確立	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	網野地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	良好な事務環境を維持できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	154	財源内訳	国庫支出金	
	12	42		府支出金	
	14	191		起債	
				分担金・負担金	
				その他	
				一般財源	387
事業費合計		387	合計		387

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか		
	○	○ 進捗している(できている)	理由 良好な事務環境を維持できた。
		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
		× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
○	○ 削減の余地がなかった	理由 反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。	
	▲ 少し削減の余地があった		
	× 削減の余地があった		

改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	B	A 事業拡大	理由 適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
B 現状維持			
C 事業縮小			



平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-6

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	04
細事業名	丹後地域公民館管理事業					

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	溝尻 美穂

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実	
	施策方針	1 社会教育体制の確立	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	丹後地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	年間利用者数 794件 14,475人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	11	3,591	国庫支出金		
	12	264	府支出金		
	13	3,013	起債		
	14	193	分担金・負担金		
			分担金・負担金	利用料	76
			その他	公有財産使用料	36
			一般財源		6,949
事業費合計		7,061	合計		7,061

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか		
	▲	○ 進捗している(できている) ▲ 少し遅れている(少しできていない) × 遅れている(できていない)	理由 予算の範囲内で可能な限りの修繕したが、まだ修繕必要な箇所がある。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
	○	○ 削減の余地がなかった ▲ 少し削減の余地があった × 削減の余地があった	理由 節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。

改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 修繕などにより、施設の維持管理に努め、市民の利便性の向上を図る。
	事業規模の方向性		
	B	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 老朽化等、問題の指摘されている地下重油タンクの整備など、より安全な管理をめざし維持を図る必要がある。

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-7

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	05
細事業名		弥栄地域公民館管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	大槻 秀明

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実	
	施策方針	1 社会教育体制の確立	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	弥栄地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	年間利用者数 1,491件 38,269人

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	1,893	国庫支出金		
	12	147	府支出金		
	13	224	起債		
	14	235	分担金・負担金		
	4	3	その他	使用料	103
	7	751			
事業費合計		3,253	合計		3,253

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	▲	理由 予算の範囲内で可能な限りの修繕したが、まだ修繕必要な箇所がある。
	○	理由 節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	

改善	事業内容の方向性	
	A	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため
	事業規模の方向性	
	A	理由 耐震性の問題も含め、市民に安全、快適なサービスの提供するため

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-8

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	01	06
細事業名		久美浜地域公民館管理事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	永井 千裕

総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策)	IV 生涯学習都市	
	計画項目 (施策)	④ 社会教育・スポーツの充実	
	施策方針	1 社会教育体制の確立	
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか)	生涯学習都市の実現のため、その拠点となる施設の維持管理を行なう。	平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか)	久美浜地域公民館の施設・設備の維持管理及び日常の管理業務に係る事務環境を維持する。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	957	国庫支出金		
	12	217	府支出金		
	13	413	起債		
	14	112	分担金・負担金		
	15	14	その他		
事業費合計		1,713	合計		1,713

評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○	進捗している(できている)
	○	▲ 少し遅れている(少しできていない)
	○	× 遅れている(できていない)
	理由	業務遂行に必要な事務環境を整えることが出来た。
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○	削減の余地がなかった	
○	▲ 少し削減の余地があった	
○	× 削減の余地があった	
	理由	節電、節水、反故紙の利用等、可能な限りの経費節減に努めた。

改善	事業内容の方向性	
	A	現状維持
	A	B 内容の見直し
	A	C 統廃合・休止・終了
	理由	適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。
	事業規模の方向性	
B	A 事業拡大	
B	B 現状維持	
B	C 事業縮小	
理由	適正な日常の管理業務に係る事務環境を維持するため。	

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-9

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	03	01
細事業名		峰山地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	中村 孝幸

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 生涯学習サークル(公民館グループ)の活動支援 地区公民館との連携促進 受益者負担という概念の普及

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…キッズ・エアロビクス(37回・延527人) 夏・春休み子ども体験教室(16回・延423人) ○成人教育事業…ハーブガーデン教室(16回・延540人)、パン・お菓子教室(16回・延277人) ○高齢者教育事業…高齢者大学(10教室 128回・延2,191人) ○文化芸術事業…みねやま写真展(出展者18人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 公民館講座を端緒とした自主運営サークルの誕生 (10グループ)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
予算科目	1	1,998	財源内訳	国庫支出金		
	4	286		府支出金		
	8	832		起債		
	9	41		分担金・負担金		
	11	428		その他	社会教育事業等参加費	371
	12	1				
	13	70				
事業費合計		3,656	一般財源		3,285	
			合計		3,656	

CHECK	
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 市民との協働の成果である自主運営サークルの誕生 × 遅れている(できていない)
	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 可及的に市民(学習者)の理解と協力を得たため × 削減の余地があった

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 生涯学習社会の実現のため
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 生涯学習社会の実現のため
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-10

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	04	01
細事業名		大宮地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	水口 規宏

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 生涯学習サークル(公民館グループ)の活動支援 地区公民館との連携促進 受益者負担という概念の普及

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…わんぱくアウトドア(2回・計60人)、チャレンジウォーク(1回・16人)、夏の自然体験教室(2回・延47人) ○成人教育事業…フレッシュ歩こう会(1回・34人)、成人講座(3講座・延180人) ○女性教育事業…女性いきいき教室(3講座・延127人) ○高齢者教育事業…高齢者いきいき教室(5講座・延219人) ○家庭教育事業…親子ふれあい教室(3回・延98人)、教育講演会(1回・211人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 限られた予算、人員の中で、他の公民館と連携協力し、効率的に事業を実施することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	1	1,998	国庫支出金		
	4	286	府支出金		
	8	126	起債		
	9	28	分担金・負担金		
	11	91	その他	社会教育事業等参加費	37
	12	21			
	13	37			
14	93	一般財源		2,643	
事業費合計		2,680	合計		2,680

CHECK					
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">予定していた事業はおおむね実施することができた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	予定していた事業はおおむね実施することができた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	予定していた事業はおおむね実施することができた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた予算の中で、参加者負担や工夫により、最小限の費用で最大限の効果を得られるよう勤めた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の中で、参加者負担や工夫により、最小限の費用で最大限の効果を得られるよう勤めた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	限られた予算の中で、参加者負担や工夫により、最小限の費用で最大限の効果を得られるよう勤めた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION					
改善	事業内容の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">その時々地域の課題や地域のニーズに応じた事業内容とすることが必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A 現状維持	理由	その時々地域の課題や地域のニーズに応じた事業内容とすることが必要である。	B 内容の見直し
A 現状維持	理由	その時々地域の課題や地域のニーズに応じた事業内容とすることが必要である。			
B 内容の見直し					
C 統廃合・休止・終了					
改善	事業規模の方向性				
	<table border="1"> <tr> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域課題やニーズに応じた事業実施のための見直しは必要であるが、地域課題やニーズに応じた事業を展開していくためには、事業拡大が必要である。</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A 事業拡大	理由	地域課題やニーズに応じた事業実施のための見直しは必要であるが、地域課題やニーズに応じた事業を展開していくためには、事業拡大が必要である。	B 現状維持
A 事業拡大	理由	地域課題やニーズに応じた事業実施のための見直しは必要であるが、地域課題やニーズに応じた事業を展開していくためには、事業拡大が必要である。			
B 現状維持					
C 事業縮小					

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-11

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	05	01
細事業名		網野地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	椋平 哲朗

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 公民館事業を通じて、市民がさまざまな知識や教養を身に付け、豊かな人間性と地域文化を育むとともに、市民の交流を促進し、学びあい、支えあう機運の醸成を図り、もって生涯学習のまちづくりを推進する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…ウイークエンド事業「レッツゴーユタッコ仲間」(12講座・延862人) ○成人教育事業…あみのウオーカー(105人)、琴引浜自然教室(16人) ○高齢者教育事業…高齢者大学(一般講座10回・延1,403人、趣味の講座11講座・242人) ○文化芸術事業…網野町ふれあいコンサート(約500人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 限られた財源、職員の中で、市民と協働しながら、幅広い事業に取り組み、多くの参加者を獲得することができ、成果をあげることができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	1	1,998	国庫支出金		
	4	286	府支出金		
	8	187	起債		
	9	18	分担金・負担金		
	11	129	その他	社会教育事業等参加費	74
	12	19			
	13	197			
	14	336	一般財源		3,096
事業費合計		3,170	合計		3,170

CHECK					
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">予定していた事業をおおむね実施することができたため。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	予定していた事業をおおむね実施することができたため。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	予定していた事業をおおむね実施することができたため。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">無駄な経費の削減に努めるとともに、最大の効果が得られるよう配慮した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	無駄な経費の削減に努めるとともに、最大の効果が得られるよう配慮した。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	無駄な経費の削減に努めるとともに、最大の効果が得られるよう配慮した。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	その時々学習課題に対応した事業展開が必要と考える。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	職員数から現状以上の業務量をこなすことは困難と思われる。
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-12

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	06	01
細事業名		丹後地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	溝尻 美穂

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 市民が学習を通じて人格の形成を図るとともに、豊かな人間性の醸成をはかる。地区公民館との連携促進をはかる。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…サバイバルキャンプ(2泊3日・30人)、少年少女意見発表会(1回・250人) ○成人教育事業…歩こう会(2回・延31人)、絵手紙講座(5回・46人) ○家庭教育事業…親子陶芸教室(2回・延36人) ○芸術文化事業…子ども作品展示(通年)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 青少年教育、成人教育、女性教育、家庭教育、芸術文化教育などの公民館事業を通じて、市民のサークル活動の活性化が図られた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	1	1,998	国庫支出金		
	4	287	府支出金		
	8	48	起債		
	9	86	分担金・負担金		
	11	70	その他	社会教育事業等参加費	21
	12	1			
	13	25			
事業費合計		2,515	一般財源		2,494
			合計		2,515

CHECK	
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 予定していた事業をおおむね実施することができたため。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 可能な限り経費節減に努めた。 ○ × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A 現状維持 B 内容の見直し 理由 市民の主体的な学習活動を支援し、活動の機会や交流の場を提供することにより、生涯学習の推進を図る。 C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 A 事業拡大 B 現状維持 理由 多様性を持たせた社会教育事業の継続と、個人の趣味・教養の範囲に留まる活動についての参加者自主運営化。 C 事業縮小



平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-13

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	07	01
細事業名		弥栄地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	大槻 秀明

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 生涯学習サークル(公民館グループ)の活動支援 地区公民館との連携促進 受益者負担という概念の普及

<b>DO</b>	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年事業…やさか探検隊(3回・延68人)、スターウォッチング(1回・74人) ○成人教育事業…囲碁入門講座(10回・延117人)、詩吟講座(5回・延69人)、剪定講座(4回・延69人) ○女性教育事業…地区女性講座(4回・延39人)、布花講座(4回・延38人)、手作りおやつ講座(4回・延44人)、お正月飾り講座(2回・29人) ○家庭教育事業…親子料理教室(1回・21人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 青少年教育、成人教育、女性教育、家庭教育、芸術文化教育などの公民館事業を通じて、市民のサークル活動の活性化が図られた。 公民館講座を端緒とした自主運営サークルの誕生(布花サークル)

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	1,998	財源内訳	国庫支出金	
	4	286		府支出金	
	8	144		起債	
	9	39		分担金・負担金	
	11	27		その他	社会教育事業等参加費 38
	12	23			
	13	28			
	14	80		一般財源	
事業費合計		2,625	合計		2,625

<b>CHECK</b>		
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 市民との協働の成果である自主運営サークルの誕生
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 可及的に市民(学習者)の理解と協力を得たため	
○ ▲ 少し削減の余地があった		
○ × 削減の余地があった		

<b>ACTION</b>			
改善	事業内容の方向性		
	A	A 現状維持	理由 生涯学習社会の実現のため
		B 内容の見直し	
		C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性		
	A	A 事業拡大	理由 生涯学習社会の実現のため
	B 現状維持		
	C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-14

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	08	01
細事業名		久美浜地域公民館運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	永井 千裕

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 生涯学習都市の実現のため、地域の生涯学習活動の拠点として、地域の課題に即した各種事業を実施するとともに、地区公民館の支援及び各種社会教育団体・地域指導者の育成を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 市民の身近な場での学習及び交流の機会を継続する。地区公民館との連携を強化し、地域の公民館活動の活性化を図る。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) ○青少年教育事業…ふるさと再発見未来塾(3回・延べ39人)、子どもサバイバルキャンプ(2泊3日・30人)、子どもの主張発表大会(1回・150人)、青少年育成市民のつどい(1回・90人) ○成人教育事業…からだにいいことしま専科(3回・16人) ○女性教育事業…絵手紙教室(5回・延100人) ○高齢者教育事業…ゆったりバランス体操教室(5回・延156人) ○家庭教育事業…親子ふるさと教室(4回・延54人)、子育て講演会(1回・112人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地域住民に対して、学習及び交流の機会を提供することにより、教養の向上、健康の増進、生きがいづくり、住民間の交流を活発にすることが出来た。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	1	1,998	財源内訳	国庫支出金	
	4	286		府支出金	
	8	152		起債	
	9	56		分担金・負担金	
	11	62		その他	
	12	32			
	13	20			
	14	183		一般財源	
事業費合計		2,789	合計		2,789

CHECK		
評価	目標達成度…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 計画した事業を概ね実施することが出来た。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性…DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 事業内容によっては、参加者にも一部費用の負担をしていただくなど、最小限の経費で事業を行うよう努めた。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 その時々々の学習課題、住民のニーズに対応した事業内容を実施していく必要がある。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 より多くの住民に生涯学習の機会を保障していくため。
B 現状維持		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-15

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	02	02	01
細事業名		地区公民館管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	椋平 哲朗

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地区公民館を設置し、市民の身近な場での地域課題等の学習機会及び市民交流の場を提供する。また、市有の地区公民館施設の維持管理する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 公民館事業を通じて、市民がさまざまな知識や教養を身に付け、豊かな人間性と地域文化を育むとともに、市民の交流を促進し、学びあい、支えあう機運の醸成を図り、もって生涯学習のまちづくりを推進する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 各地区公民館が、対象地域の市民を対象に、地域課題に対応した学習機会の提供及び市民交流事業を実施した。また、市有の地区公民館施設を維持管理した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 地域の課題に即した学習活動等、特色ある地区公民館活動が展開できた。地域住民の交流が促進され、地域のきずなが深まった。市有の地区公民館を維持管理した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	1	18,040	国庫支出金		
	8	1,056	府支出金		
	9	109	起債		
	11	1,592	分担金・負担金		
	12	117	その他	網野、新庄公民館負担金	380
	13	776		共済金	15
	14	4		公衆電話料	1
	18,19	21,882	一般財源		43,180
事業費合計		43,576	合計		43,576

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">計画されていた事業がおおむね実施されていると認められるため。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	計画されていた事業がおおむね実施されていると認められるため。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			計画されていた事業がおおむね実施されていると認められるため。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">限られた財源を有効に活用して事業が実施されたものと認められるため。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	限られた財源を有効に活用して事業が実施されたものと認められるため。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			限られた財源を有効に活用して事業が実施されたものと認められるため。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	身近な社会教育機関として、今後とも必要である。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	身近な社会教育機関として、今後とも必要である。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-16

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	01	01	01
細事業名		体育指導委員活動事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	鶴原 義和

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域住民へのスポーツの実技指導及び助言、また地域でのスポーツを通じた様々な活動のコーディネーター役となるよう体育指導委員の資質向上を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 体育指導委員の資質の更なる向上 スポーツ実施率を50%に近づける

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 普及推進種目(ファミリーバドミントン、きばれえ、ペタンク)の体育指導委員向け講習会を行った。(計6回) 京都府体育指導委員研究大会、近畿体育指導委員研究協議会、京都府体育指導委員協議会地区別事業へ参加し資質向上に努めた。住民向けのニュースポーツ講習会、大会を開催した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 体育指導委員対象の研修会には、延179人の参加

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
財源内訳	1	2,838	国庫支出金	
	9	728	府支出金	
	11	23	起債	
	12	94	分担金・負担金	
	13	52	その他	
	14	6		
	19	98	一般財源	3,839
事業費合計		3,839	合計	3,839

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">各地域で普及推進種目を中心としたニュースポーツの普及を図るため、教室や大会等を開催するとともに、研修等に参加し日々の活動に生かした。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	各地域で普及推進種目を中心としたニュースポーツの普及を図るため、教室や大会等を開催するとともに、研修等に参加し日々の活動に生かした。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	各地域で普及推進種目を中心としたニュースポーツの普及を図るため、教室や大会等を開催するとともに、研修等に参加し日々の活動に生かした。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">体育指導委員の資質向上及び円滑な活動を行うために必要な経費である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	体育指導委員の資質向上及び円滑な活動を行うために必要な経費である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	体育指導委員の資質向上及び円滑な活動を行うために必要な経費である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">日常的に運動していない人に、いかに習慣的に運動してもらうかが課題であり、そのきっかけ作りに今後ますます教室活動等を充実させ、一人でも多くの人にスポーツのできる機会の場を提供していく必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	日常的に運動していない人に、いかに習慣的に運動してもらうかが課題であり、そのきっかけ作りに今後ますます教室活動等を充実させ、一人でも多くの人にスポーツのできる機会の場を提供していく必要がある。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	日常的に運動していない人に、いかに習慣的に運動してもらうかが課題であり、そのきっかけ作りに今後ますます教室活動等を充実させ、一人でも多くの人にスポーツのできる機会の場を提供していく必要がある。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">体育指導委員の人数は、当分の間現状を維持していくのが良いと思われるが、市内全域で各種スポーツ教室等を開催していく上で、体育指導委員の指導力の更なる向上を図る。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	体育指導委員の人数は、当分の間現状を維持していくのが良いと思われるが、市内全域で各種スポーツ教室等を開催していく上で、体育指導委員の指導力の更なる向上を図る。	B	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由	体育指導委員の人数は、当分の間現状を維持していくのが良いと思われるが、市内全域で各種スポーツ教室等を開催していく上で、体育指導委員の指導力の更なる向上を図る。					
B	B 現状維持							
C	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-17

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	01	03	01
細事業名		社会体育団体育成事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	久保 和明

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市内の各種スポーツ団体へ補助金を交付することにより、市民へのスポーツの普及と振興を図るとともにスポーツ団体を育成する。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 支援団体の安定的な運営を確保する

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市のスポーツ・体育振興の中心組織である京丹後市体育協会に支援を行うとともに、15,235,000円の補助金を交付した。網野ジュニアスポーツ協会についてもジュニアの育成及び青少年健全育成等の観点から支援を行うとともに、1,342,000円の補助金を交付した。また、スポーツ振興及び地域住民の健康づくり等を目的に平成19年度に発足した網野スポーツクラブへの補助を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 京丹後市体育協会では6つの支部が運営する事業のほか、市全域を対象とした競技大会が実施できた。網野ジュニアスポーツ協会では、22団体が活動できた。網野スポーツクラブは、21教室が運営された。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	16,982	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		16,982
事業費合計		16,982	合計		16,982

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市内の各スポーツ団体の育成、各種教室及び大会の自主運営など、市民がスポーツに親しむ機会を提供するなど、市のスポーツ振興を担い、幅広い年代層にスポーツ活動の普及に寄与している。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	市内の各スポーツ団体の育成、各種教室及び大会の自主運営など、市民がスポーツに親しむ機会を提供するなど、市のスポーツ振興を担い、幅広い年代層にスポーツ活動の普及に寄与している。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	市内の各スポーツ団体の育成、各種教室及び大会の自主運営など、市民がスポーツに親しむ機会を提供するなど、市のスポーツ振興を担い、幅広い年代層にスポーツ活動の普及に寄与している。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">いずれの支援団体も、自主財源を持っていないため現段階では困難である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	いずれの支援団体も、自主財源を持っていないため現段階では困難である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	いずれの支援団体も、自主財源を持っていないため現段階では困難である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">地域のスポーツ活動を支える、各種団体への支援は必要である。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	地域のスポーツ活動を支える、各種団体への支援は必要である。	B	B 内容の見直し	C
A	A 現状維持	理由	地域のスポーツ活動を支える、各種団体への支援は必要である。					
B	B 内容の見直し							
C	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">市の財政が厳しい中ではあるが、団体を支援することを通じて、市民がスポーツに親しむ環境を整えることは、重要である。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由	市の財政が厳しい中ではあるが、団体を支援することを通じて、市民がスポーツに親しむ環境を整えることは、重要である。	B	B 現状維持	C
B	A 事業拡大	理由	市の財政が厳しい中ではあるが、団体を支援することを通じて、市民がスポーツに親しむ環境を整えることは、重要である。					
B	B 現状維持							
C	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-18

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	01	01
細事業名		京都府民総合体育大会事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	久保 和明

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京都府民総合体育大会へ、京丹後市の代表選手を派遣し、府内各地の代表選手と競い合うことにより、競技力の向上を目指す。上位の成績を目指すことで京丹後市の体育振興及び、京丹後市のPRともなる。 事業の目的 (平成26年度事業の効果目標) (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 参加選手の増加と、成績の向上

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 第32回京都府民総合体育大会への選手団の派遣のため、京丹後市体育協会へ160万円の補助金を交付した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 20競技に参加し、総合6位に入賞することができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	9	2	財源内訳	国庫支出金		
	19	1,600		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		1,602
				合計		1,602

CHECK			
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	理由	各競技で好成績を取ることができ、20年度の8位入賞から6位入賞へと着実に成績を向上させることができた。
	○ 進捗している(できている)		
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)		
	○ × 遅れている(できていない)		
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか	理由	20年度より、ユニフォーム購入補助をなくし、選手派遣補助のみとなっている。	
○ 削減の余地がなかった			
○ ▲ 少し削減の余地があった			
○ × 削減の余地があった			

ACTION			
改善	事業内容の方向性	理由	大会に参加し、代表選手が府内におけるスポーツレベルを認識し、京丹後市の競技力向上へつなげるために必要である。
	A 現状維持		
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性	理由	22年度より、ゴルフが正式種目となるため、派遣選手の増加が見込まれるため。
	A 事業拡大		
B 現状維持			
C 事業縮小			



平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-19

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	02	01
細事業名		市民体育大会事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	久保 和明

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 京丹後市体育大会を開催することにより、市内のスポーツ活動の振興を行う他、スポーツを通して、市内各地の市民が競技選手として交流することで、京丹後市の活性化を図る。 事業の継続と競技参加者の増加 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 第5回京丹後市総合体育大会の実施のため、京丹後市体育協会へ330万円の補助金を交付した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 17競技、24種目で実施され、2035人の参加者があった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	19	3,300	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		3,300
事業費合計		3,300	合計		3,300

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 京丹後市のスポーツ事業のうち、メイン行事として定着している。前回に比べ参加者も増加(+82人)した。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 京丹後市のスポーツ事業のうち、メイン行事として定着している。前回に比べ参加者も増加(+82人)した。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 京丹後市のスポーツ事業のうち、メイン行事として定着している。前回に比べ参加者も増加(+82人)した。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 大会運営については、現在でも切り詰めた状態で運営されている。削減の余地はないものとする。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 大会運営については、現在でも切り詰めた状態で運営されている。削減の余地はないものとする。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 大会運営については、現在でも切り詰めた状態で運営されている。削減の余地はないものとする。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 合併以前から通算すれば、55回を数える大会である。京丹後市全域のスポーツ選手が集う総合体育大会であり、今後も継続する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 合併以前から通算すれば、55回を数える大会である。京丹後市全域のスポーツ選手が集う総合体育大会であり、今後も継続する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 合併以前から通算すれば、55回を数える大会である。京丹後市全域のスポーツ選手が集う総合体育大会であり、今後も継続する必要がある。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 京丹後市のスポーツ事業のメインとなる事業である。今後も維持する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 京丹後市のスポーツ事業のメインとなる事業である。今後も維持する必要がある。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 京丹後市のスポーツ事業のメインとなる事業である。今後も維持する必要がある。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						



平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-20

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	03	01
細事業名		地域スポーツ振興事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	鶴原 義和

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市民の健康づくりや、スポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の拡充、そして地域力の活性化を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 教室、大会への参加者を増やし、スポーツ実施率を50%に近づける。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツや体力づくり活動を行えるよう、地域の特性を生かしたスポーツ教室や大会などの事業を実施した。また、網野スポーツ祭、あみの八丁浜ロードレース大会への補助金を交付し、財政支援を行った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 体育指導委員と連携し、住民向けの講習会を146回開催した。(参加者約2,000人) ニュースポーツ交流大会には、58チームの参加があった。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	8	286	国庫支出金		
	11	513	府支出金		
	12	1	起債		
	13	2,535	分担金・負担金		
	14	36	その他		
	19	1,336			
事業費合計		4,707	一般財源		4,707
			合計		4,707

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツや地域の特性を生かした教室や大会等を実施し、市民の体力・健康・生きがい作りの機会拡充に繋がった。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツや地域の特性を生かした教室や大会等を実施し、市民の体力・健康・生きがい作りの機会拡充に繋がった。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツや地域の特性を生かした教室や大会等を実施し、市民の体力・健康・生きがい作りの機会拡充に繋がった。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">各種教室や講習会、大会を開催するにあたり必要な経費である。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	各種教室や講習会、大会を開催するにあたり必要な経費である。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	各種教室や講習会、大会を開催するにあたり必要な経費である。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	地域のスポーツ活動を推進し、誰もが気軽にスポーツに親しめるきっかけづくりとして、スポーツ教室や大会開催は有効であると思われる。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	B 現状維持	理由	地域の特性に応じた事業と、市全域で取り組む事業を引続き実施し、スポーツ実施率の向上を図る。
A 事業拡大			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-21

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	04	01
細事業名		青少年スポーツ教室事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	久保 和明

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 青少年のスポーツ競技力・運動能力の向上を図るとともに、健全育成を目指す。 事業の継続と、教室数の拡大 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域に根ざした様々なスポーツ教室を実施した。その指導者へ謝金を支払った(月額4,500円)を支払った。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市内で59のスポーツ教室を実施し、児童のスポーツ競技力、体力の向上及び健全育成与した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入			
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)	
事業費合計	8	3,155	財源内訳	国庫支出金		
	11	17		府支出金		
				起債		
				分担金・負担金		
				その他		
				一般財源		3,172
				合計		3,172
	事業費合計			3,172	合計	

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 小学生の段階からスポーツに親しむことで、スポーツ競技力、体力の向上、及び健全育成が図られる。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 月額4,500円の指導謝礼、年1回の広報チラシ紙代であり、謝金支払額は、教室数の増減によるが、この要素以外に削減の余地はない。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 次代を担う青少年が、スポーツに親しむ機会として貴重である。競技力・運動能力の向上だけでなく、健全育成にも寄与する。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 少子化などにより、若干の教室数の増減はあるものの、概ね現状のままと考えられる。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-22

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	02	05	02
細事業名		全国高等学校総合体育大会開催事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	吉田 茂夫

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	<p>(どのような目的で事業を実施するか) 平成21年度全国高等学校総合体育大会に向けた大会会場・施設の整備、備品等の購入および、大会開催経費の補助を行う。多額の経費がかからない方法で開催に向けて準備を進めるとともに、今後カヌー競技場で行われる各種カヌー大会、ドラゴンカヌー大会など市民の活用につながる事業を進める。</p> <p>平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 平成21年度は京都府が高校総体の会場になったが、平成26年度事業はない。</p>

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市の久美浜湾カヌーレーシング競技場において、平成21年度全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会が開催された。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 全国から89の高校、538名の参加があり、見るものすべてに大きな感動を与えてくれた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	金額(千円)
予算科目	8	168	国庫支出金	
	12	499	府支出金	未来づくり交付金 100
	13	147	起債	
	18	333	分担金・負担金	
	19	9,103	その他	
事業費合計		10,250	合計	10,250

CHECK	
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <p>○ 進捗している(できている)                  ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 平成21年度全国高等学校総合体育大会に向けた大会会場・施設の整備、備品等の購入および、大会開催経費の補助を行うことができた。                  × 遅れている(できていない)</p> <p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <p>○ 削減の余地がなかった                  ▲ 少し削減の余地があった 理由 必要不可欠であり、妥当なコストである。                  × 削減の余地があった</p>

ACTION	
改善	<p>事業内容の方向性</p> <p>C B 内容の見直し 理由 平成21年度は京都府が高校総体の会場になっていたため。                  C 統廃合・休止・終了</p> <p>事業規模の方向性</p> <p>B B 現状維持 理由 平成26年度までの間に京都府で開催はない。                  C 事業縮小</p>

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-23

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	03	01	01
細事業名		体育施設管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	下田真紀子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域住民に身近な地域スポーツ活動の拠点施設として、体育施設を管理運営することで、地域でのスポーツ振興を図るとともに、スポーツ競技団体の競技力の向上及び青少年等の社会性の体得に貢献する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な社会体育施設の維持管理。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民がスポーツを実施する上で、支障なく利用してもらえるように社会体育施設の維持管理を行い、市のスポーツの普及・発展に貢献した。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市民がスポーツを実施する上で、支障なく利用してもらえるよう社会体育施設の維持管理を行い、市のスポーツ普及・発展に貢献した。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	14,418	国庫支出金		
	12	826	府支出金		
	13	15,510	起債		
	14	218	分担金・負担金		
	15	1,072	その他	使用料	3,058
	16	22		公衆電話料	2
	18	158		共済金	15
				一般財源	29,149
事業費合計		32,224	合計		32,224

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 地域住民に身近な場所で、スポーツをする場を提供することができたと考える。 × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 地域住民に身近な場所でのスポーツ活動の推進のため必要な経費である。 × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し 理由 スポーツ活動の拠点として設備の充実と利便性を向上させ、市民の利用に支障のないよう今後も維持管理を引続き実施していく必要がある。 C 統廃合・休止・終了
	事業規模の方向性 B A 事業拡大 B 現状維持 理由 今後も引続き体育施設を開放し、維持管理を行っていく。 C 事業縮小

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-24

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	06	03	02	01
細事業名		社会体育用学校開放施設管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	下田真紀子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 1 社会教育体制の確立
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 地域住民に最も身近な地域スポーツ活動の拠点施設として、学校体育施設を開放することで、地域でのスポーツ振興を図るとともに、スポーツ競技団体の競技力の向上及び青少年等の社会性の体得に貢献する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 学校に支障のない範囲で、市民が常に施設利用できるように、維持管理に努める。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 地域でのスポーツ振興を図るとともに、競技力の向上及び社会性を身につける場として、学校教育に支障のない範囲で、市民へ学校施設を開放し、利用していただいた。また、常に利用可能なように学校体育施設の維持管理に努めた。
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学校体育施設を開放することにより、地域スポーツの振興、競技力向上及び青少年等の社会性の育成に貢献できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	11	2,724	国庫支出金		
			府支出金		
			起債		
			分担金・負担金		
			その他	小中学校使用料	3,157
			一般財源		0
事業費合計		2,724	合計		3,157

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか ○ 進捗している(できている) ○ ▲ 少し遅れている(少しできていない) 理由 地域スポーツの振興及び競技力向上が図られたと考える。 ○ × 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか ○ 削減の余地がなかった ○ ▲ 少し削減の余地があった 理由 地域住民の身近な場所でのスポーツ活動の推進のため必要な経費である。 ○ × 削減の余地があった

ACTION	
改善	事業内容の方向性 A A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了 理由 地域スポーツの振興と競技力向上及び社会性の育成の場として今後も学校体育施設を開放していくことが必要不可欠と考える。
	事業規模の方向性 B A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小 理由 今後も市内全域の学校体育施設を開放し、維持管理を行っていく。

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-25

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	03	01	01
細事業名		図書館管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達忠行
担当者の氏名	藤原恵美子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 2 図書館ネットワークの確立
事業の目的	<p>(どのような目的で事業を実施するか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の求める、読書や情報収集の支援と、知的要求に応える生涯学習都市の実現のため各種事業を実施するなど役に立つ図書館サービスの充実を図る。</li> </ul> <p>平成26年度事業の効果目標</p> <p>(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)</p> <p>図書システム更新によって、さらに利便性を図る。 資料費の充実による市内図書館全体の利用の増大。 貸出点数430,000点(内、個人貸出350,000点。学校再配置により団体貸出は減少が見込まれる)</p>

DO	
平成21年度事業の実績	<p>(何を対象に、何をしたか)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者ニーズ、話題性、資料的価値観等を考慮した図書館資料を購入し、円滑に利用者に提供。</li> <li>レファレンスサービス(調べ物の資料提供)など役に立つ図書館サービスの充実を図った。</li> <li>学校等関係機関と連携し子どもの読書活動を推進するため、団体貸出の実施及び読み聞かせ等の支援活動を行った。</li> </ul>
平成21年度事業の効果	<p>(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)</p> <p>市内間の貸出のネットワークが確立したため、予約・取寄せ件数が増えた。 各館とも各種事業を拡充した。</p> <p>平成21年度貸出点数 421,337点(内、個人貸出337,630点)平成20年度 397,470点(内、個人貸出321,956点)</p>

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	1	80	国庫支出金		
	4	2,839	府支出金		
	7	26,006	起債		
	8・9	74	分担金・負担金		
	11・12	4,803	その他	寄附金	2,311
	13	1,632			
	14	730			
18・19	12,509	一般財源		46,362	
事業費合計		48,673	合計		48,673

CHECK	
評価	<p>目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか</p> <p>○ 進捗している(できている)                  ▲ 少し遅れている(少しできていない)                  × 遅れている(できていない)</p> <p>理由 図書システムの統合に伴って図書の配送システムが確立したことにより、市内の資料の循環が円滑に図られ、予約・取寄せの件数及び個人の貸出点数が増加した。</p>
	<p>効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか</p> <p>○ 削減の余地がなかった                  ▲ 少し削減の余地があった                  × 削減の余地があった</p> <p>理由 図書システムの統合により、資料費の有効活用を図ったが、年間8万点の本が出版され、1冊の単価も上がっている中、市民の読書要求は多様化しており、新鮮な本を置くために図書費の増額が課題。</p>

ACTION	
改善	<p>事業内容の方向性</p> <p>A 現状維持                  B 内容の見直し                  C 統廃合・休止・終了</p> <p>理由 市立図書館が一体となって市民により良いサービスを提供していく。</p>
	<p>事業規模の方向性</p> <p>A 事業拡大                  B 現状維持                  C 事業縮小</p> <p>理由 市民のニーズを的確に捉え、新着資料と所蔵している豊富な資料を活用したコーナー作りや図書館だより、ホームページによる情報発信等により、新たな利用者増に努め、レファレンスの充実等、役に立つ図書館を目指す。</p>



平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-26

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	06	01
細事業名		障害者教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 体験学習や研修活動を通して交流を深め障害者の学習活動や社会参加を促進する。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 様々な体験活動の実施と放課後や休日における子どもの居場所づくり

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 視覚障害者及び聴覚障害者を対象とした体験実習と環境学習・応急手当講習などの研修会を実施した。また、京都府が実施する同研修会へ参加するための支援と網野青年学級の運営支援(132千円)を行った。 ○視覚障害者研修会 42名参加 ○聴覚障害者研修会 26名参加
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 障害者の社会参加と交流の促進

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	8	52	財源内訳	国庫支出金	
	9	2		府支出金	
	11	16		起債	
	13	37		分担金・負担金	
	19	132		その他	
事業費合計		239	一般財源		239
			合計		239

CHECK							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>▲</td> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	▲	○ 進捗している(できている)	理由 網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。		▲ 少し遅れている(少しできていない)	
▲	○ 進捗している(できている)	理由 網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。					
	▲ 少し遅れている(少しできていない)						
	× 遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 必要最小限の予算で事業を実施している。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td></td> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	○ 削減の余地がなかった	理由 必要最小限の予算で事業を実施している。		▲ 少し削減の余地があった	
○	○ 削減の余地がなかった	理由 必要最小限の予算で事業を実施している。					
	▲ 少し削減の余地があった						
	× 削減の余地があった						

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>現状維持</td> <td rowspan="3">理由 障害者の数少ない学習・交流の場であり広く参加が得られるような工夫をしながら継続して実施する必要があるが、網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	現状維持	理由 障害者の数少ない学習・交流の場であり広く参加が得られるような工夫をしながら継続して実施する必要があるが、網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。	B	内容の見直し	C
A	現状維持	理由 障害者の数少ない学習・交流の場であり広く参加が得られるような工夫をしながら継続して実施する必要があるが、網野地域の青年学級への支援について、他地域とのバランスにも配慮し、検証する必要がある。					
B	内容の見直し						
C	統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 障害者の貴重な学習と交流の場であり、対象者からも開催の要望が強い事業である。また、視覚・聴覚障害者は、高齢者が多く今後ますます必要性が高まる事業である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由 障害者の貴重な学習と交流の場であり、対象者からも開催の要望が強い事業である。また、視覚・聴覚障害者は、高齢者が多く今後ますます必要性が高まる事業である。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由 障害者の貴重な学習と交流の場であり、対象者からも開催の要望が強い事業である。また、視覚・聴覚障害者は、高齢者が多く今後ますます必要性が高まる事業である。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						



平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-27

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	07	01
細事業名		成人教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 市民のニーズにあった趣味や教養などの学習機会を提供することにより、市民が生涯を通して、いつでも自由に学び楽しむことができる生涯学習社会の実現を目指す。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 事業参加者の増加及びサークル化

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 市民を対象とした各種の趣味教養講座(IT講習会、デッサン、絵手紙、デジカメ、囲碁、詩吟、剪定、料理講習など)や、健康体力づくり、学習講座など市民のニーズに即した各種事業を実施した。8事業(65回);延べ616名が参加
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 市民の各種講座への参加者の増加及び生涯学習活動の充実

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	8	141	財源内訳	国庫支出金	
	11	51		府支出金	
	12	8		起債	
	13	208		分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	408	
事業費合計		408	合計		408

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 地域公民館の連携や広域的な事業の展開が定着しつつある。また、サークルの育成を図ることができた。
	▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	× 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 学習者にも一定の費用負担をしていただいている。	
▲ 少し削減の余地があった		
× 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 市民のニーズや地域課題を的確に把握し、講座の内容の充実を図り、市民団体・サークル活動の育成を図る。
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B 現状維持	理由 学習者へも一定の負担をいただきながら各種の生涯学習機会を提供し、地域人材を活用した講座の充実を図る。
A 事業拡大		
C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-28

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	08	01
細事業名		女性教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 女性団体の活動を支援するとともに、女性の身近な場での学習機会を提供することによって、女性の社会参加と組織化を促進する。 事業参加者の増加と組織化の促進 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 京丹後市連合婦人会(361千円)及び網野生活学校(49千円)への活動支援及び、地区公民館を単位とした女性講座を開設し、地域での交流活動を通して、連帯意識を高める取り組みを進めた。3事業(11回);延べ121名が参加
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 連合婦人会組織を中心とした自発的な活動と女性組織の発展が見られた

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
	8	54	国庫支出金		
	11	22	府支出金		
	19	410	起債		
			分担金・負担金		
			その他		
			一般財源		486
事業費合計		486	合計		486

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 婦人会組織の構成に地域格差が生じている。地域での女性組織の育成が課題となっている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 婦人会組織の構成に地域格差が生じている。地域での女性組織の育成が課題となっている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 婦人会組織の構成に地域格差が生じている。地域での女性組織の育成が課題となっている。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 団体への活動補助金を段階的に削減してきたが、現状の組織体制を維持し、事業を実施するためには現行の予算が必要と思われる。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 団体への活動補助金を段階的に削減してきたが、現状の組織体制を維持し、事業を実施するためには現行の予算が必要と思われる。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 団体への活動補助金を段階的に削減してきたが、現状の組織体制を維持し、事業を実施するためには現行の予算が必要と思われる。			
▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION							
改善	事業内容の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 女性組織の育成と地域での学習活動の活性化を図るため引き続き事業を実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由 女性組織の育成と地域での学習活動の活性化を図るため引き続き事業を実施する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由 女性組織の育成と地域での学習活動の活性化を図るため引き続き事業を実施する必要がある。					
	B 内容の見直し						
	C 統廃合・休止・終了						
改善	事業規模の方向性						
	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 地域での学習機会を通じた女性の交流の場の充実が必要である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	B	A 事業拡大	理由 地域での学習機会を通じた女性の交流の場の充実が必要である。		B 現状維持	
B	A 事業拡大	理由 地域での学習機会を通じた女性の交流の場の充実が必要である。					
	B 現状維持						
	C 事業縮小						

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-29

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	09	01
細事業名		高齢者教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 高齢者に生涯学習の機会を提供し、高齢者の生きがいを高めるとともに学習の成果を地域へ還元することによって、地域コミュニティの再生及び活性化を図る。 平成26年度事業の効果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 研修会参加者の増加と指導者の養成及び活用

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 高齢者の社会参加と人材の養成及び活用を図るため「生涯学習ボランティア養成講座」を実施した。1事業(4回);延べ80名
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 学習機会の充実と指導者としての人材育成及び活用

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
事業費合計	8	48	財源内訳	国庫支出金	
	9	9		府支出金	
	11	28		起債	
				分担金・負担金	
			その他		
			一般財源	85	
事業費合計		85	合計		85

CHECK	
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか <input type="radio"/> 進捗している(できている) <input checked="" type="radio"/> 少し遅れている(少しできていない) 理由 継続的な事業の実施及び体制整備、関係機関の連携が必要である。 <input type="radio"/> 遅れている(できていない)
	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか <input type="radio"/> 削減の余地がなかった <input checked="" type="radio"/> 少し削減の余地があった 理由 講座内容の充実を図るための予算措置が必要である。 <input type="radio"/> 削減の余地があった

ACTION				
改善	事業内容の方向性 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了</td> <td>理由 地域の学習活動に経験豊かな高齢者の人材を活用することができるシステムの構築と、自主的な運営を行う生涯学習サークルの育成が必要である。</td> </tr> </table>	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 地域の学習活動に経験豊かな高齢者の人材を活用することができるシステムの構築と、自主的な運営を行う生涯学習サークルの育成が必要である。
	A	A 現状維持 B 内容の見直し C 統廃合・休止・終了	理由 地域の学習活動に経験豊かな高齢者の人材を活用することができるシステムの構築と、自主的な運営を行う生涯学習サークルの育成が必要である。	
事業規模の方向性 <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小</td> <td>理由 専門的な指導者を養成することを目的とした講座を企画することができる予算措置が必要である。</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 専門的な指導者を養成することを目的とした講座を企画することができる予算措置が必要である。	
A	A 事業拡大 B 現状維持 C 事業縮小	理由 専門的な指導者を養成することを目的とした講座を企画することができる予算措置が必要である。		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-30

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	10	01
細事業名		家庭教育事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	島貫 博志

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 時代を担う子どもたちの健やかな成長を支援するため、家庭、学校、地域が連携した学習機会を提供するとともに、親子の交流機会を提供し地域の教育力の向上を図る。 事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 子育て学習会・各種事業への参加

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 乳幼児、就学前等、子どもの発達段階に応じた親を対象にした子育て学習会や親子ふれあい事業を関係機関と連携し実施した。子育て学習会 33回;延べ1,976名の参加 親子ふれあい事業 7回;延べ152名参加 また、大宮・網野地域では、家庭教育支援チームを組織し、子どもの心理状況を把握する「手紙で結ぶ家族の絆事業」や地域課題を把握するためのアンケートの実施、親同士の情報交換を通して、相談できる人間関係を築くことを目的とした参加型の学習会の開催や相談対応などに取り組んだ。学習会 20回;延べ292名参加 また、市PTA協議会(707千円)への活動支援を実施。
平成21年度事業の効果	家庭・地域の教育力の向上 家庭教育支援チームを核としたきめ細かな家庭教育支援体制の整備

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入	
	節	金額(千円)	項目	名称 金額(千円)
予算科目	8	526	国庫支出金	
	9	23	府支出金	家庭教育支援補助金 404
	11	306	起債	
	12	5	分担金・負担金	
	19	707	その他	
事業費合計		1,567	一般財源	1,163
			合計	1,567

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">家庭教育支援チームの拡充を図り地域に密着したきめ細かな家庭教育支援体制の定着を図る。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	家庭教育支援チームの拡充を図り地域に密着したきめ細かな家庭教育支援体制の定着を図る。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	家庭教育支援チームの拡充を図り地域に密着したきめ細かな家庭教育支援体制の定着を図る。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">研修会へ参加しやすい各小学校区及び町域を単位とした学習機会の提供が効果的である。京都府の家庭教育基盤形成事業の補助事業を活用する。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	研修会へ参加しやすい各小学校区及び町域を単位とした学習機会の提供が効果的である。京都府の家庭教育基盤形成事業の補助事業を活用する。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	研修会へ参加しやすい各小学校区及び町域を単位とした学習機会の提供が効果的である。京都府の家庭教育基盤形成事業の補助事業を活用する。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION								
改善	事業内容の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">家庭環境の多様化、地域のつながりが希薄化する中で、家庭教育の果たす役割はますます重要となる。地域課題に即した学習会を継続して実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	A	A 現状維持	理由	家庭環境の多様化、地域のつながりが希薄化する中で、家庭教育の果たす役割はますます重要となる。地域課題に即した学習会を継続して実施する必要がある。		B 内容の見直し	
A	A 現状維持	理由	家庭環境の多様化、地域のつながりが希薄化する中で、家庭教育の果たす役割はますます重要となる。地域課題に即した学習会を継続して実施する必要がある。					
	B 内容の見直し							
	C 統廃合・休止・終了							
改善	事業規模の方向性							
	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">家庭教育の重要性が高まる中で、多様な子育て支援体制を構築する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td></td> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A	A 事業拡大	理由	家庭教育の重要性が高まる中で、多様な子育て支援体制を構築する必要がある。		B 現状維持	
A	A 事業拡大	理由	家庭教育の重要性が高まる中で、多様な子育て支援体制を構築する必要がある。					
	B 現状維持							
	C 事業縮小							

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-31

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	01	11	01
細事業名		芸術文化事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達忠行
担当者の氏名	中村孝幸

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 文化活動を通じた地域の振興とまちづくり。住民の教養の向上、生活文化の振興。 事業実施にあたり文化協会各団体の自主運営化の促進(行政依存的体質の改善)
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 従来旧6町に存在した文化協会(文化団体協議会)を解消し、平成21年7月1日に京丹後市文化協会を発足させた。また平成22年3月には、京都府丹後文化会館及び峰山地域公民館を会場に市総合文化祭(ステージ、展示)を実施した。市民を対象とした事業の実施(公共ホール音楽活性化事業、小町ろまん短歌大会、府丹後文化会館への補助)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 文化協会において活動目的と補助金の使途についての共通理解ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	195	財源内訳	国庫支出金	
	12	77		府支出金	
	13	942		起債	
	14	253		分担金・負担金	
	19	31,542		その他	音楽活性化負担金
				公演入場料	270
			一般財源		32,429
事業費合計		33,009	合計		33,009

CHECK				
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 市文化協会の設立と各種文化芸術事業の実施</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由 市文化協会の設立と各種文化芸術事業の実施	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由 市文化協会の設立と各種文化芸術事業の実施			
○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)				
× 遅れている(できていない)				
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか			
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 事業の効率化を目指しての市文化協設立のため、第一段階として規約と予算を共有することを主としたため(補助金削減を目的とした市文化協会の設立でなかったため)。</td> </tr> <tr> <td>○ ▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由 事業の効率化を目指しての市文化協設立のため、第一段階として規約と予算を共有することを主としたため(補助金削減を目的とした市文化協会の設立でなかったため)。	○ ▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由 事業の効率化を目指しての市文化協設立のため、第一段階として規約と予算を共有することを主としたため(補助金削減を目的とした市文化協会の設立でなかったため)。			
○ ▲ 少し削減の余地があった				
× 削減の余地があった				

ACTION				
改善	事業内容の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>B A 現状維持</td> <td rowspan="3">理由 個人の楽しみの域をでない公共性・公益性の低い活動費用についての自己負担化</td> </tr> <tr> <td>B B 内容の見直し</td> </tr> <tr> <td>C 統廃合・休止・終了</td> </tr> </table>	B A 現状維持	理由 個人の楽しみの域をでない公共性・公益性の低い活動費用についての自己負担化	B B 内容の見直し
B A 現状維持	理由 個人の楽しみの域をでない公共性・公益性の低い活動費用についての自己負担化			
B B 内容の見直し				
C 統廃合・休止・終了				
改善	事業規模の方向性			
	<table border="1"> <tr> <td>A A 事業拡大</td> <td rowspan="3">理由 文化活動を通じた地域の振興とまちづくりのため</td> </tr> <tr> <td>B 現状維持</td> </tr> <tr> <td>C 事業縮小</td> </tr> </table>	A A 事業拡大	理由 文化活動を通じた地域の振興とまちづくりのため	B 現状維持
A A 事業拡大	理由 文化活動を通じた地域の振興とまちづくりのため			
B 現状維持				
C 事業縮小				

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-32

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	05	01	01
細事業名		峰山いさなご施設管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	下田真紀子

<b>PLAN</b>	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的 (どのような目的で事業を実施するか)	林業経営の安定と農山村地域の振興を図る(峰山林業総合センター) 工芸品づくりによる高齢者の介護予防、生きがいつくりの推進及び文化・伝承活動等の実施に対する支援を図る(いさなご工房) 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、生活文化の向上に資するため(いさなごコート)。 市民が利用しやすいよう、良好な施設環境の維持をする。
平成26年度事業の効果目標	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入)

<b>DO</b>	
平成21年度事業の実績 (何を対象に、何をしたか)	施設管理及び木工・陶芸の指導・定期講座の実施。いさなごコート(屋根付ゲートボール場)・会議室の貸し出しを行い、H20よりは減少したが多くの利用があった。H20利用者数16,244人・H21利用者数15,385人
平成21年度事業の効果 (実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入)	良好な施設環境の維持ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	01	1,998	国庫支出金		
	04	264	府支出金		
	11	2,152	起債		
	12	191	分担金・負担金		
	13	3,070	その他	使用料	1,312
	14	15		諸収入	205
事業費合計		7,690	一般財源		6,173
			合計		7,690

<b>CHECK</b>							
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由 生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○	進捗している(できている)	理由 生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。	▲	少し遅れている(少しできていない)	×
○	進捗している(できている)	理由 生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。					
▲	少し遅れている(少しできていない)						
×	遅れている(できていない)						
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
	<table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由 人件費をはじめ、木工・陶芸の材料費、光熱水費など最大限の節約を行っている。</td> </tr> <tr> <td>▲</td> <td>少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>×</td> <td>削減の余地があった</td> </tr> </table>	○	削減の余地がなかった	理由 人件費をはじめ、木工・陶芸の材料費、光熱水費など最大限の節約を行っている。	▲	少し削減の余地があった	×
○	削減の余地がなかった	理由 人件費をはじめ、木工・陶芸の材料費、光熱水費など最大限の節約を行っている。					
▲	少し削減の余地があった						
×	削減の余地があった						

<b>ACTION</b>		
改善	事業内容の方向性	
	A 現状維持	理由 指定管理者制度導入へ移行
	B 内容の見直し	
	C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	A 事業拡大	理由 指定管理者制度導入へ移行
B 現状維持		
C 事業縮小		



平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-33

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	05	02	01
細事業名		マスターズビレッジ管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	下田真紀子

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市
	計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実
	施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 活力ある長寿社会の実現に向けて、生きがいづくり、ふれあい交流づくり及び健康づくりの場を提供し、生涯学習の推進に寄与する。
事業の目的	(平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 市民が利用しやすいよう、良好な施設環境の維持をする。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 陶芸、染色の指導。施設管理及び展示室・会議室の貸し出し。ふれあいスポーツ広場の貸し出しを行い、H20より減少したが多くの利用があった。マスターズビレッジ法面整形工事を実施した。H20利用者数9,281人・H21利用者数8,426人
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境の維持ができた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	3,269	国庫支出金		
	12	136	府支出金		
	13	13,190	起債		
	14	27	分担金・負担金		
	15	1,065	その他	使用料	1,936
	16	8		諸収入	92
	22	130		一般財源	15,797
事業費合計		17,825	合計		17,825

CHECK						
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか					
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">施設利用者数は伸び悩みがあるものの、生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	施設利用者数は伸び悩みがあるものの、生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。	▲ 少し遅れている(少しできていない)	× 遅れている(できていない)
	○ 進捗している(できている)	理由			施設利用者数は伸び悩みがあるものの、生涯学習の拠点施設として役割を果たしている。	
	▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)						
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか						
<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">陶芸・染色の材料費など最大限の節約を行っている。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	陶芸・染色の材料費など最大限の節約を行っている。	▲ 少し削減の余地があった	× 削減の余地があった	
○ 削減の余地がなかった	理由			陶芸・染色の材料費など最大限の節約を行っている。		
▲ 少し削減の余地があった						
× 削減の余地があった						

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	指定管理者制度導入へ移行
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	指定管理者制度導入へ移行
B 現状維持			
C 事業縮小			

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-34

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	05	03	01
細事業名		たちばな会館管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	椋平 哲朗

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市 計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実 施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 木津地区の生涯学習、コミュニティ活動の拠点であるたちばな会館の維持管理 事業の效果目標 (平成26年度までに、どのような効果をだすか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境を維持する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) たちばな会館の維持管理 利用実績 【会議室等】385回 延4,812人(平成20年度:320回 延4,725人) 【図書室】開館247日 利用者366人 貸出冊数2,172冊 (平成20年度:開館246日 利用者372人 貸出冊数2,143冊)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境を維持できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
予算科目	11	568	財源内訳	国庫支出金	
	12	79		府支出金	
	13	795		起債	
	14	7		分担金・負担金	
		その他			
				一般財源	1,449
事業費合計		1,449		合計	1,449

CHECK		
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか	
	○ 進捗している(できている)	理由 良好な施設環境が維持できた。
	○ ▲ 少し遅れている(少しできていない)	
	○ × 遅れている(できていない)	
効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか		
○ 削減の余地がなかった	理由 必要最小限の経費で良好な施設環境が維持できた。	
○ ▲ 少し削減の余地があった		
○ × 削減の余地があった		

ACTION		
改善	事業内容の方向性	
	A A 現状維持	理由 良好な施設環境が維持するため。
	B B 内容の見直し	
	C C 統廃合・休止・終了	
	事業規模の方向性	
	B A 事業拡大	理由 良好な施設環境が維持するため。
B B 現状維持		
C C 事業縮小		

平成22年度 事務事業評価

整理番号  
21-35

平成21年度予算	会計名称	款	項	目	事業	細事業
	一般会計	10	05	05	04	01
細事業名		網野教育会館管理運営事業				

担当部局	教育委員会事務局
担当課等	社会教育課
担当課長の氏名	安達 忠行
担当者の氏名	椋平 哲朗

PLAN	
総合計画 (前期基本計画)	基本方針 (政策) IV 生涯学習都市
	計画項目 (施策) ④ 社会教育・スポーツの充実
	施策方針 3 生涯学習推進体制の整備
事業の目的	(どのような目的で事業を実施するか) 人権学習をはじめとする社会教育施設として、また、地域のコミュニティ活動の拠点施設である網野教育会館の施設の維持管理
事業の目的	事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入)
事業の目的	事業の目的 (平成26年度までに、どのような効果を目指すか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境を維持する。

DO	
平成21年度事業の実績	(何を対象に、何をしたか) 網野教育会館の維持管理。平成21年度から地元郷区へ業務委託し、管理者が原則平日の午前に勤務。また、屋上防水工事を実施した。 【利用実績】 474回 延5,874人 (平成20年度:416回 延6,334人)
平成21年度事業の効果	(実績により、どのような効果があったか。できるだけ指標と数値で記入) 良好な施設環境を維持できた。

●平成21年度決算

予算科目	歳出		歳入		
	節	金額(千円)	項目	名称	金額(千円)
財源内訳	11	495	国庫支出金		
	12	68	府支出金		
	13	627	起債		
	14	36	分担金・負担金		
	15	5,123	その他		
	18	128			
事業費合計		6,477	一般財源		6,477
			合計		6,477

CHECK					
評価	目標達成度・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)が、PLAN(事業の目的、あるいは平成26年度事業の効果目標)の達成に向けて順調に進捗したか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 進捗している(できている)</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">良好な施設環境を維持できた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し遅れている(少しできていない)</td> </tr> <tr> <td>× 遅れている(できていない)</td> </tr> </table>	○ 進捗している(できている)	理由	良好な施設環境を維持できた。	▲ 少し遅れている(少しできていない)
○ 進捗している(できている)	理由	良好な施設環境を維持できた。			
▲ 少し遅れている(少しできていない)					
× 遅れている(できていない)					
評価	効率性・・・DO(平成21年度事業の実績、あるいは効果)に対して、コスト削減の余地がなかったか				
	<table border="1"> <tr> <td>○ 削減の余地がなかった</td> <td rowspan="3">理由</td> <td rowspan="3">必要最小限の経費で良好な施設環境を維持できた。</td> </tr> <tr> <td>▲ 少し削減の余地があった</td> </tr> <tr> <td>× 削減の余地があった</td> </tr> </table>	○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の経費で良好な施設環境を維持できた。	▲ 少し削減の余地があった
○ 削減の余地がなかった	理由	必要最小限の経費で良好な施設環境を維持できた。			
▲ 少し削減の余地があった					
× 削減の余地があった					

ACTION			
改善	事業内容の方向性		
	A 現状維持	理由	良好な施設環境を維持するため。
	B 内容の見直し		
	C 統廃合・休止・終了		
	事業規模の方向性		
	A 事業拡大	理由	良好な施設環境を維持するため。
B 現状維持			
C 事業縮小			

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	
事 業 名	02 社会教育委員設置事業			決算書
細 事 業 名	01 社会教育委員設置事業			P.338
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
789千円	887千円	98千円	88.9 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

社会教育行政全般について、調査・研究及び審議をして答申及び建議を行うとともに、市民の声を反映した社会教育事業を推進するために社会教育委員を設置するものであり、社会教育事業に関する審議、社会教育委員の研修を行った。

- 報酬（社会教育委員報酬） 552 千円  
社会教育委員 15人（任期：平成20年4月1日～平成22年3月31日）  
社会教育委員会議の主な内容（7回開催）  
平成20年度社会教育・社会体育事業の概要  
平成21年度社会教育・社会体育事業計画・予算、協議課題、意見交換  
京丹後市における今後の公民館体制及び運営のあり方について（中間報告）
- 旅費（費用弁償、研修事業への参加旅費） 148 千円
- 需用費（研修事業資料代） 12 千円
- 使用料及び賃借料（有料道路通行料） 12 千円  
丹後地方社会教育委員連絡協議会への参加（3回）  
研修事業
  - ・京都府社会教育委員連絡協議会総会[6月12日 美山文化ホール]
  - ・丹後地方社会教育委員連絡協議会総会・研修会[6月25日 野田川わーくぱる]
  - ・近畿地区社会教育研究大会[9月3日～4日 なら100年会館]
  - ・京都府社会教育研究大会[11月27日 アミティ丹後 他]
- 負担金、補助及び交付金 65 千円  
丹後地方社会教育委員連絡協議会分担金（京都府社会教育委員連絡協議会分担金含む）

**【事務事業評価】**

社会教育委員は、市民の意向を反映した社会教育行政を進めるために必要であり、今後も市民のニーズにあった社会教育を推進するために引き続き設置する。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	
事 業 名	03 社会教育指導員設置事業			決算書
細 事 業 名	01 社会教育指導員設置事業			P.340
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
22,227千円	22,247千円	20千円	99.9 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

社会教育の推進体制を整備し、事業を積極的に展開することにより、社会教育活動の充実を図るため、社会教育指導員を設置した。

主な業務は、社会教育事業の計画・立案及び運営や社会教育関係団体等への指導・助言など団体の育成を行った。

社会教育指導員の設置 10人（平成21年10月～ 9人）

社会教育課 2人（平成21年10月～ 1人）

峰山地域公民館 2人

大宮地域公民館 1人

網野地域公民館 1人（平成21年10月～ 2人）

丹後地域公民館 1人

弥栄地域公民館 1人

久美浜地域公民館 2人（平成21年10月～ 1人）

○報酬 18,981 千円

社会教育指導員報酬

○共済費 2,690 千円

社会保険料 2,409 千円

労災保険料 61 千円

雇用保険料 220 千円

○旅費 556 千円

費用弁償

**【事務事業評価】**

住民のニーズに応える社会教育を推進するため、引き続き9人の社会教育指導員を設置し、各種社会教育事業の効果的な実施と社会教育団体の育成・支援を行う。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費
事 業 名	01 地域公民館管理事業		
細 事 業 名	01 峰山地域公民館管理事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
7,569千円	7,637千円	68千円	99.1 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

峰山地域公民館の貸館業務、施設の維持管理を行った。

○需用費	3,429千円	○使用料及び賃借料	15千円
消耗品費	151千円	元び`受信料	15千円
燃料費（空調機用燃料等）	69千円	○工事請負費（外灯修繕）	54千円
印刷製本費（申請書）	15千円	○備品購入費（冷蔵庫）	60千円
光熱水費	2,527千円	○負補交（電気代負担金）	2千円
修繕料	667千円	*丹後文化会館電気使用負担金	
○役務費	179千円		
通信運搬費	135千円		
手数料（J`ミ処理手数料等）	23千円		
保険料	21千円		
○委託料	3,830千円		
施設警備委託料	2,358千円		
施設清掃委託料	187千円		
消防設備等保守点検委託料	15千円		
貯水槽等保守点検委託料	16千円		
電気設備保守管理委託料	99千円		
I`バ`-タ-保守点検委託料	756千円		
病虫害防除委託料	37千円		
特殊建築物・設備定期報告業務委託料	362千円		

平成21年度利用者集計		
大会議室	595 件	23,359 人
第1会議室	298 件	3,316 人
練習室	204 件	2,400 人
講義室	344 件	6,816 人
和室Ⅰ	290 件	2,842 人
和室Ⅱ	283 件	2,869 人
料理実習室	127 件	2,157 人
第2会議室	313 件	2,671 人
展示室	38 件	2,207 人
計	2,492 件	48,637 人

**【事務事業評価】**

社会教育活動推進の拠点となる施設の適正な維持管理を図るとともに経費節減に努めた。

**【主な特定財源】**

使用料 峰山地域公民館使用料	645千円
諸収入 峰山地域公民館水道使用料負担金	181千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------



予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費
事 業 名	01 地域公民館管理事業		
細 事 業 名	02 大宮地域公民館管理事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
261千円	306千円	45千円	85.2 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

大宮地域公民館の印刷機の維持管理費を支出した。

○需用費	55 千円
消耗品費	42 千円
修繕料	13 千円
○使用料及び賃借料	206 千円
印刷機借上料	206 千円

**【事務事業評価】**

印刷機の管理維持を行い、地区公民館、分館の事業広報活動に寄与した。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費
事 業 名	01 地域公民館管理事業		
細 事 業 名	03 網野地域公民館管理事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
387千円	414千円	27千円	93.4 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

網野地域公民館の維持管理を行った。

○需用費	154 千円
消耗品費	154 千円
○役務費	42 千円
通信運搬費	32 千円
手数料	10 千円
○使用料及び賃借料	191 千円
印刷機借上料	176 千円
テレビ受信料	15 千円

**【事務事業評価】**

良好な事務環境を維持するとともに、反故紙の利用等、経費節減に努めた。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費
事 業 名	01 地域公民館管理事業		
細 事 業 名	04 丹後地域公民館管理事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
7,061千円	7,247千円	186千円	97.4 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

丹後地域公民館の貸館業務・維持管理及び社会教育・体育備品の貸出を行った。

○需用費	1,352千円	○使用料及び賃借料	193千円
消耗品費	356千円	コピー機賃借	11千円
燃料代	388千円	印刷機賃借	144千円
光熱水費	2,239千円	会場借上料	10千円
修繕料	608千円	NHK受信料	25千円
○役務費	264千円	ガス警報器	3千円
通信運搬費	125千円		
冷暖房切替手数料	112千円		
火災保険料	27千円		
○委託料	920千円		
施設警備費	319千円		
水質調査費	17千円		
消防設備保守	15千円		
電気工作物管理	131千円		
公民館受付業務	2,093千円		
貯留槽清掃委託	61千円		
防火対象物点検	10千円		
特殊建築物・設備定期報告業務	367千円		

平成21年度施設利用者集計		
大ホール	169 回	6,348 人
第1研修室	261 回	3,919 人
第2研修室	57 回	634 人
第3研修室	37 回	314 人
第4研修室	18 回	176 人
会議室	61 回	701 人
和室	170 回	2,054 人
茶室	1 回	4 人
調理室	20 回	325 人
計	794 回	14,475 人

**【事務事業評価】**

事業の実施や貸館業務を通し、社会教育活動の推進や生涯学習の普及啓発に努めた。

**【主な特定財源】**

使用料 公有財産使用料	36千円
使用料 丹後地域公民館使用料	76千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費
事 業 名	01 地域公民館管理事業		
細 事 業 名	05 弥栄地域公民館管理事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
3,253千円	3,489千円	236千円	93.2 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

弥栄地域公民館の貸館業務、施設の維持管理を行った。

○需用費	1,893 千円	○共済費	3 千円
消耗品費	397 千円	労災保険料	3 千円
燃料費	41 千円	○賃金	751 千円
印刷製本費	13 千円	臨時職員賃金	751 千円
光熱水費	1,388 千円		
修繕料	54 千円		
○役務費	147 千円		
通信運搬費	118 千円		
手数料	11 千円		
保険料	18 千円		
○委託料	224 千円		
施設清掃委託料	165 千円		
空調設備保守点検委託料	44 千円		
消防設備等保守点検委託料	15 千円		
○使用料及び賃借料	235 千円		
テレビ受信料	15 千円		
土地借上料 (505㎡)	217 千円		
ガス警報器使用料	3 千円		

平成21年度利用者集計		
和室 (1階)	284 件	4,450 人
和室 (2階)	221 件	2,945 人
大ホール	303 件	16,674 人
大会議室	241 件	5,281 人
小会議室	369 件	7,312 人
調理実習室	73 件	1,607 人
計	1,491 件	38,269 人

**【事務事業評価】**

社会教育活動を通じた住民自治力の向上及び生涯学習の普及啓発に努めた。

**【主な特定財源】**

使用料 弥栄地域公民館使用料 103千円

事業所管課	教育委員会事務局 / 社会教育課
-------	------------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費
事 業 名	01 地域公民館管理事業		
細 事 業 名	06 久美浜地域公民館管理事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
1,713千円	1,893千円	180千円	90.4 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

久美浜地域公民館の社会教育備品・社会体育備品の貸出、施設の維持管理を行った。

○需用費	957 千円	○使用料及び賃借料	112 千円
消耗品費	218 千円	印刷機借上料	97 千円
燃料費（空調機用燃料等）	119 千円	テレビ受信料	15 千円
光熱水費	620 千円		
		○工事請負費	14 千円
○役務費	217 千円	*図書室緊急通報システム機器増設	
通信運搬費	208 千円		
保険料	9 千円		
○委託料	413 千円		
施設警備委託料	302 千円		
庭木剪定委託料	19 千円		
消防設備等保守点検委託料	4 千円		
浄化槽維持管理委託料	88 千円		

**【事務事業評価】**

社会教育事業を通じて、地域力の向上、生涯学習の普及推進に努めた。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	
事 業 名	03 峰山地域公民館運営事業			決算書
細 事 業 名	01 峰山地域公民館運営事業			P.350
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
3,656千円	3,716千円	60千円	98.3 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域公民館事業を実施するとともに、峰山地域内の地区公民館の連絡調整及び活動支援を行った。

○峰山地域公民館長設置 2,312 千円

- ・報酬 1,998 千円
- ・共済費 286 千円
- ・旅費 28 千円

○社会教育事業費 1,024 千円

事業種別	講 座 名	実施回数	参加者数等	決算額
青少年教育	みねやま子ども囲碁大会	1回	22人	2千円
成人教育	ハーブガーデン講座	16回	540人	60千円
	お菓子職人講座Ⅰ・Ⅱ	14回	277人	45千円
高齢者教育	高齢者大学	128回	2,191人	787千円
	文化財・史跡めぐり(京都市)	1回	90人	3千円
芸術文化	みねやま写真展	1回	出展27点	17千円
体育事業	第42回峰山スポーツ祭典	1回	1,000人	110千円

○峰山地域公民館だより(24回発行) 66 千円

○運営事務経費(消耗品費ほか) 254 千円

**【事務事業評価】**

社会教育活動を通じた住民自治力の向上及び上記事業を通じての生涯学習の普及啓発に努めた。

**【主な特定財源】**

諸収入 社会教育事業等参加費 371千円

事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課
-------	----------------



予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	
事 業 名	04 大宮地域公民館運営事業			決算書
細 事 業 名	01 大宮地域公民館運営事業			P.350
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
2,680千円	2,792千円	112千円	95.9 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域公民館事業を実施するとともに、大宮地域内の地区公民館、分館の連絡調整及び活動支援を行った。

○大宮地域公民館長設置 2,312 千円

- ・報酬 1,998 千円
- ・共済費 286 千円
- ・旅費 28 千円

○子ども体験教室 14 千円

- ・需用費 2 千円
- ・委託料 12 千円

○いきいき教室 204 千円

事業種別	講座数	実施回数	延べ参加者	決算額
成人教育	2	9回	69人	42千円
女性教育	3	11回	127人	36千円
高齢者教育	5	14回	219人	88千円
事務費	-	-	-	38千円

○大宮町歩こう会 94 千円

- ・需用費 5 千円
- ・使用料及び賃借料 89 千円

○公民館だより（2回発行） 33 千円

○事務用品等 23 千円

**【事務事業評価】**

地域公民館では、青少年教育、女性教育、高齢者教育、家庭教育に関する事業を実施し、地域住民の幅広い学習機会を提供することができた。

**【主な特定財源】**

諸収入 社会教育事業等参加費 37千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	
事 業 名	05 網野地域公民館運営事業			決算書
細 事 業 名	01 網野地域公民館運営事業			P.352
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
3,170千円	3,250千円	80千円	97.5 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域公民館事業を実施するとともに、網野地域内の地区公民館の連絡調整及び活動支援を行った。

- 網野地域公民館長設置 2,286 千円
  - ・報酬 1,998 千円
  - ・共済費 286 千円
  - ・旅費 2 千円

- 社会教育事業費 792 千円

事業種別	講座名	実施回数	延べ参加者	決算額
高齢者教育	網野町高齢者大学一般講座	11回	1,407人	562千円
	網野町高齢者大学趣味の講座	208回	3,105人	42千円
青少年教育	網野町ウィークエンド事業	12回	844人	38千円
	琴引浜自然教室	1回	16人	6千円
成人教育	京丹後あみのウォークデー	1回	105人	16千円
家庭教育	就学前の子育て講座	5回	164人	12千円
芸術文化	網野町ふれあいコンサート	1回	600人	116千円

- 運営事務経費（消耗品費ほか） 92 千円

**【事務事業評価】**

地域公民館は、高齢者教育、文化芸術の振興などを実施し地域住民への幅広い学習機会の提供に寄与している。また、地域内の地区公民館の交流連携を図り、より質の高い公民館活動が展開できるよう支援した。

**【主な特定財源】**

諸収入 社会教育事業等参加費 74千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	
事 業 名	06 丹後地域公民館運営事業			決算書
細 事 業 名	01 丹後地域公民館運営事業			P.352
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
2,515千円	2,764千円	249千円	90.9 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域公民館事業を実施するとともに、丹後地域内の地区公民館の連絡調整及び活動支援を行った。

○丹後地域公民館長設置 2,371 千円

- ・報酬 1,998 千円
- ・共済費 286 千円
- ・旅費 87 千円

○社会教育事業費 81 千円

事業種別	事業名	実施回数	参加人数	決算額
青少年教育	夏休み親子陶芸教室	2回	34人	18千円
	丹後町少年少女意見発表会	1回	200人	16千円
成人教育	絵手紙講座	5回	13人	30千円
	歩こう会	2回	27人	17千円

○丹後地域公民館だより（13回発行） 22 千円

○運営事務経費（消耗品費ほか） 41 千円

**【事務事業評価】**

事業の実施により、学習の機会の提供また地区公民館の活動の支援が行えた。

**【主な特定財源】**

諸収入 社会教育事業参加者負担金 21千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	
事 業 名	07 弥栄地域公民館運営事業			決算書
細 事 業 名	01 弥栄地域公民館運営事業			P.352
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
2,625千円	2,798千円	173千円	93.8 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域公民館事業を実施するとともに、弥栄地域内の地区公民館の連絡調整及び活動支援を行った。

- 弥栄地域公民館長設置 2,321 千円
  - ・報酬 1,998 千円
  - ・共済費 286 千円
  - ・旅費 37 千円

- 社会教育事業費 202 千円

事業種別	講座名	実施回数	延べ参加者	決算額
青少年教育	やさか探検隊	3回	68人	22千円
	スターウォッチング	1回	74人	6千円
成人教育	囲碁講座	10回	117人	60千円
	詩吟講座	5回	69人	30千円
	剪定講座	4回	69人	24千円
	春の寄せ植え講座	2回	29人	12千円
芸術文化	芸能の夕べ・文化祭駅伝大会	1回	1,700人	48千円

- 弥栄地域公民館だより（12回発行） 20 千円
- 運営事務経費（消耗品費ほか） 82 千円

**【事務事業評価】**

社会教育活動を通じた住民自治力の向上及び事業を通じての生涯学習の普及啓発に努めた。

**【主な特定財源】**

諸収入 社会教育事業等参加費 38千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費
事 業 名	08 久美浜地域公民館運営事業		
細 事 業 名	01 久美浜地域公民館運営事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
2,789千円	3,103千円	314千円	89.8 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域公民館事業を実施するとともに、久美浜地域内の地区公民館の連絡調整及び活動支援を行った。

- 久美浜地域公民館長設置 2,341 千円
  - ・報酬 1,998 千円
  - ・共済費 286 千円
  - ・旅費 57 千円

- 社会教育事業費 398 千円

事業種別	事業名	回数	人数	決算額
青少年教育	ふるさと再発見未来塾	3回	39人	51千円
	青少年市民のつどい	1回	90人	189千円
	子どもの主張発表大会	1回	150人	11千円
	子ども創作作品展示会	1回	638人	10千円
成人教育	からだにいいことしま専科	3回	16人	13千円
女性教育	絵手紙教室	5回	20人	43千円
	久美浜二区女性学級	12回	82人	30千円
高齢者教育	ゆったり！バランス体操教室	5回	32人	24千円
体育事業	くみはまニュースポーツ交流大会	1回	213人	27千円

- 久美浜地域公民館だより（6回発行） 20 千円

- 運営事務経費（消耗品費ほか） 30 千円

**【事務事業評価】**

上記事業の他にも人権教育・家庭教育・文化芸術の振興を行い、地域住民への幅広い学習機会を提供した。また、地域内8地区公民館との連携及び交流を図り、地区公民館の活動を支援することが出来た。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	02公民館費	
事 業 名	02 地区公民館管理運営事業			決算書
細 事 業 名	01 地区公民館管理運営事業			P.348
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
43,576千円	43,682千円	106千円	99.7 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地区公民館の館長・主事報酬をはじめ、地区公民館の活動を支援するための交付金及び地区公民館の維持管理等にかかる経費を支出した。

○報酬（地区公民館職員88人分）	18,040千円
地区公民館長報酬    15,000円／月	7,860千円
地区公民館主事報酬    20,000円／月	10,180千円
○地区公民館管理謝金（網野）	1,056千円
○旅費	109千円
○需用費	1,591千円
○役務費	118千円
○委託料	776千円
消防設備等保守点検委託料	11千円
浄化槽維持管理委託料	285千円
網野公民館管理委託料	480千円
○使用料及び賃借料	4千円
○備品購入費（網野地区公民館消火器）	51千円
○負担金、補助及び交付金	21,831千円
地区公民館火災保険料等補助金（網野8地区館）	2,128千円
地区公民館活動交付金（44地区館）	19,703千円

**【事務事業評価】**

地区公民館活動を通じて、地域住民のコミュニティ活動の推進を図るとともに、生涯学習機会の提供、地域づくりの拠点としての機能を発揮することができた。

**【主な特定財源】**

諸収入 網野、新庄公民館光熱水費負担金	380千円
諸収入 市有建物損害共済金	15千円
諸収入 公衆電話料	1千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------



予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費	
事 業 名	01 体育指導委員活動事業			決算書
細 事 業 名	01 体育指導委員活動事業			P.370
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
3,839千円	4,180千円	341千円	91.8 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

体育指導委員60人を委嘱し、地域スポーツの振興のためニュースポーツ教室などを開催するとともに、その実技指導、その他スポーツに関する指導、助言を行うため各種研究大会へ参加し資質向上に努めた。

○報酬	2,838 千円
・ 体育指導委員報酬（市職員3人を除く57人分）	
○旅費	728 千円
・ 京都府体育指導委員研究大会旅費（20人）	41千円
・ 近畿体育指導委員研究協議会旅費（14人）	189千円
・ 体育指導委員活動費用弁償	498千円
○需用費	23 千円
・ 消耗品費	
○役務費	94 千円
・ スポーツ安全保険料	
○委託料	52 千円
・ バス運転委託料	
○使用料及び賃借料	6 千円
・ 有料道路通行料	
○負担金、補助及び交付金	98 千円
・ 丹後体育指導委員連絡協議会負担金	52千円
・ 京都府体育指導委員研究大会参加負担金	20千円
・ 近畿体育指導委員研究協議会参加負担金	26千円

**【事務事業評価】**

各地域で重点的に推進を図る種目を中心としたニュースポーツの普及を図るため、教室や大会等を開催するとともに、研修等に参加し日々の活動に活かした。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	01保健体育総務費
事 業 名	03 社会体育団体育成事業		
細 事 業 名	01 社会体育団体育成事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
16,982千円	16,982千円	0千円	100.0%

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

京丹後市体育協会はスポーツ振興の中核的な役割を担う団体であり、引き続き支援を行うとともに、網野ジュニアスポーツ協会についても青少年健全育成等の観点から引き続き活動を支援した。また、網野スポーツクラブについても、スポーツの普及やスポーツ振興また地域住民の健康づくり及び活力ある地域づくりを推進することを目的に活動を支援した。

○負担金、補助及び交付金 16,982 千円

- ・京丹後市体育協会補助金 15,235 千円  
(加盟：22競技団体、4,142人)
- ・網野ジュニアスポーツ協会活動事業補助金 1,342 千円  
(加盟：22団体、590人)
- ・網野スポーツクラブ活動補助金 405 千円  
(加盟：男性250人、女性224人 計474人)

**【事務事業評価】**

市内のスポーツ団体の育成やスポーツ団体が主催する各種教室及び大会等を通じて、市民がスポーツに親しむ機会を提供するなど、本市のスポーツ振興に寄与した。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	
事 業 名	01 京都府民総合体育大会事業			決算書
細 事 業 名	01 京都府民総合体育大会事業			P.370
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
1,602千円	1,604千円	2千円	99.8 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

京都府民総合体育大会は、府内唯一の総合体育大会であり、京丹後市の代表として大会へ出場する15競技種目への派遣費として、京丹後市体育協会へ補助金を交付した。

- 開会式出席職員旅費 2千円
- 選手派遣費補助金 1,600千円

【大会結果概要】 総合成績：6位/26市町村

開催日	競技種目	参加者数	備考
8月29・30日/11月21・22日	バスケットボール	男子18人/女子18人	
10月2日・11月1日	バレーボール	男子15人/女子15人	
11月29日	卓球	8人	
10月18日	ソフトテニス	17人	
10月24・25日	テニス	18人	第7位
11月1・8・15日	軟式野球	20人	第3位
11月15日	バドミントン	12人	
10月18・25日/11月1日	ソフトボール	男子20人/女子18人	女子第2位
11月7・8日	サッカー	21人	
11月22日	ボウリング	7人	
11月8日	ゲートボール	男子6人/女子6人	男子第6位・女子第2位
11月1日	陸上	20人	第1位
11月8日	グラウンド・ゴルフ	9人	
2月14日	駅伝	19人	
11月1日	ソフトバレーボール	成年9人/壮年8人	交流種目
参加者合計		284人	

**【事務事業評価】**

各競技で好成績を収めることができ、平成20年度の8位入賞から6位入賞へと着実に成績を向上させることができた。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費
事 業 名	02 市民体育大会事業		
細 事 業 名	01 市民体育大会事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
3,300千円	3,300千円	0千円	100.0 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

京丹後市総合体育大会は、市内唯一の総合体育大会であり、その継続のために開催経費、選手派遣経費等を主催団体である京丹後市体育協会へ補助金として交付した。

○市民総合体育大会開催補助金 3,300 千円

【大会結果概要】 開催日：9月6日（日） 総合優勝：大宮 総合準優勝：峰山

	競技種目	参加者数	結果（優勝）
1	陸上	365 人	男子:久美浜/女子:大宮
2	軟式野球	121 人	峰山
3	卓球	71 人	峰山
4	バレーボール	225 人	男子:久美浜/女子:弥栄/家庭婦人:弥栄
5	ソフトボール	223 人	壮年男子:大宮/一般女子:峰山
6	ソフトテニス	99 人	峰山
7	柔道	4 人	網野
8	剣道	31 人	大宮
9	ゲートボール	102 人	男子:大宮/女子:大宮
10	バドミントン	75 人	大宮
11	サッカー	130 人	網野
12	テニス	40 人	大宮
13	グラウンド・ゴルフ	127 人	男子:峰山/女子:大宮
14	バスケットボール	163 人	男子:網野/女子:大宮
15	ゴルフ	99 人	峰山
16	ボウリング	52 人	網野
17	ソフトバレーボール	108 人	弥栄
	参加者合計	2,035 人	

**【事務事業評価】**

京丹後市の体育事業のうち、メイン行事として定着している。前回に比べ参加者も増加しスポーツを通して市民の交流にも貢献できた。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	
事 業 名	03 地域スポーツ振興事業			決算書
細 事 業 名	01 地域スポーツ振興事業			P.372
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
4,707千円	4,898千円	191千円	96.1 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

市内全域を対象として、子どもから高齢者までの誰もが気軽にスポーツや健康づくり活動を行える地域の特性を活かした事業（教室・講習会・大会等）である「する」スポーツはもとより、「みる」「ささえる」を目的としたスポーツ事業を実施し、市民の健康・体力づくりやスポーツを通じた住民間・地域間の交流機会の拡充、そして地域力の活性化に寄与した。

○報償費	286千円
・各種スポーツ大会等審判員謝金	72千円
・各種スポーツ教室・講習会等講師謝金	117千円
・各種スポーツ大会入賞、参加記念品	97千円
○需用費	513千円
・各種スポーツ教室、大会等消耗品等	513千円
○役務費	1千円
○委託料	2,535千円
・カヌーレーシング大会運営（5月16日、6月7日）63人参加	900千円
・市長杯中学生野球大会開催（6月6日、7日）市内9校参加	150千円
・大宮町体育大会運営（6月14日）690人参加	230千円
・久美浜湾一周駅伝競走大会運営（11月23日）82チーム参加	1,215千円
・バス運転委託料	40千円
○使用料及び賃借料	36千円
○負担金、補助及び交付金	1,336千円
・網野スポーツ祭（7月5日～2月11日）851人参加	296千円
・あみの八丁浜ロードレース大会（10月18日）643人参加	1,040千円

**【事務事業評価】**

誰もが気軽に楽しむことができるニュースポーツや地域の特性を生かしたスポーツ教室や大会等を実施し、市民の体力・健康・生きがいづくりの機会拡充につながった。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	
事 業 名	04 青少年スポーツ教室事業			決算書
細 事 業 名	01 青少年スポーツ教室事業			P.372
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
3,172千円	3,175千円	3千円	99.9%	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

青少年スポーツ団体である各種教室への支援として指導者謝金を交付することで、青少年の健全育成と体力・運動能力の向上、そして地域指導者の育成を図った。

- 青少年スポーツ教室指導者謝金            3,155 千円    (1教室4,500円/月)
- 消耗品費                                        17 千円

種目	峰山		大宮		丹後		弥栄		久美浜	
	教室	人数	教室	人数	教室	人数	教室	人数	教室	人数
野球	5	134	6	107	2	52	3	75	5	91
サッカー	1	60	1	40	1	20	2	64		
少女バレーボール	3	52	1	13	1	33	2	41	2	41
剣道	1	13	1	16	2	21	1	22		
柔道	1	26	1	6			1	7		
空手道	1	10	1	12	1	12			1	12
陸上	1	41	1	51	1	19				
ゲートボール	1	13								
少林寺拳法	1	14								
レスリング	1	8								
テニス	2	46							1	12
卓球			1	26						
バドミントン	1	14								
バスケットボール			1	50					1	35
合計	19	431	14	321	8	157	9	209	10	191

《教室数合計》 60 教室    《教室人数合計》 1,309 人

**【事務事業評価】**

小学生の段階からスポーツに親しむことで、スポーツ競技力、体力の向上及び健全育成を図ることができた。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局/社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	02保健体育事業費	
事 業 名	05 全国高等学校総合体育大会事業			決算書
細 事 業 名	02 全国高等学校総合体育大会開催事業			P.372
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
10,250千円	10,259千円	9千円	99.9 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会を久美浜湾カヌー競技場で開催した。  
(平成21年8月4日～8月8日開催)

○報償費	168 千円
・報償物品 (大会参加記念タオル1,680枚)	
○役務費	499 千円
・手数料 (産業廃棄物処理手数料) 修理不能カヌー艇処分 (29隻)	
○委託料	147 千円
・バス運転委託料 (監督・選手輸送用)	
○備品購入費	333 千円
・競技運営用トランシーバー (20台)	
○負担金、補助及び交付金	9,103 千円
・全国高等学校総合体育大会カヌー競技大会開催事業補助金 (京都府実行委員会へ補助)	

**【事務事業評価】**

全国から89の高校、538人の参加があった。全国規模の大会の開催により、本市のカヌー競技の底辺拡大に寄与した。

**【主な特定財源】**

府補 未来づくり交付金 (全国高等学校総合体育大会開催事業)	100千円
--------------------------------	-------

事業所管課	教育委員会事務局 / 社会教育課
-------	------------------

予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費
事 業 名	01 体育施設管理運営事業		
細 事 業 名	01 体育施設管理運営事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
32,224千円	32,915千円	691千円	97.9 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域スポーツ振興を進めるため社会体育施設の維持管理を行った。

[利用件数]

施設名	利用件数	施設名	利用件数
紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）	12	丹後社会体育館	342
吉原グラウンド	121	豊栄山村広場（野外ゲートボール場）	0
峰山練成道場（柔道・少林寺・空手）	15	豊栄山村広場（グラウンド）	278
大宮自然運動公園	515	弥栄総合運動公園（体育館）	779
大宮社会体育館	959	弥栄総合運動公園（野外運動場）	60
大宮テニスコート（大宮中のみ使用）	0	弥栄総合運動公園（ゲートボール場）	797
網野グラウンド（野球・ソフトボール）	315	弥栄柔剣道場	33
網野グラウンド（ゲートボール場）	150	久美浜中央運動公園（グラウンド）	163
網野体育センター（体育室）	636	久美浜中央運動公園（テニスコート）	359
網野体育センター（武道館）	950	久美浜中央運動公園（ゲートボール場）	357
網野体育センター（テニスコート）	232		

○需用費	14,418 千円
○役務費	826 千円
○委託料	15,510 千円
○借上料（弥栄社会体育館用地 603㎡・仮設トイレ・施設使用料）	218 千円
○工事請負費	1,072 千円
国道312号道路改良工事支障物件（給水メータ移設工、マンホール嵩下げ工）移設工事	
○原材料費	22 千円
○備品購入費（野球ベース3個、テニスネット2個）	158 千円

**【事務事業評価】**

市民がスポーツを実施するうえで、社会体育施設の適切な維持管理を行い、市のスポーツの普及・発展に貢献した。

**【主な特定財源】**

使用料 紅葉ヶ丘運動場夜間照明使用料 他	2,733千円
使用料 公有財産使用料	325千円
諸収入 公衆電話料	2千円
諸収入 市有建物損害共済金	15千円

事業所管課

教育委員会事務局／社会教育課



予 算 科 目	10教育費	06保健体育費	03体育施設費	
事 業 名	02 社会体育用学校開放施設管理運営事業			決算書
細 事 業 名	01 社会体育用学校開放施設管理運営事業			P.374
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
2,724千円	2,733千円	9千円	99.6 %	

### 【主要な事務・事業及び成果の概要】

地域スポーツ振興のための学校体育施設の開放を行っており、その施設の維持管理を行った。

○需用費 2,724 千円

・消耗品費

    体育館ワックス 284 千円

    体育館照明水銀・レフランプ他 231 千円

・修繕料

    体育館照明ランプ修繕 855 千円

    グラウンド屋外照明ランプ修繕 775 千円

    バックネット・防球ネット修繕 68 千円

    体育館入口ドア・鍵・窓ガラス取替修繕他 511 千円

#### <利用件数>

		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	利用件数計
小学校	体育館等	2,144	856	2,036	863	122	1,211	7,232
	グラウンド	1,060	122	901	567	361	742	3,753
中学校	体育館等	207	531	1,560	285	100	396	3,079
	グラウンド	32	209	224	126	197	260	1,048

### 【事務事業評価】

地域でのスポーツ振興を図るとともに、競技力の向上及び社会性を身につける場として、市民が学校体育施設を利用できるよう維持管理に努めた。

#### 【主な特定財源】

使用料 小学校施設使用料 2,094千円  
使用料 中学校施設使用料 1,063千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	03図書館費	
事 業 名	01 図書館管理運営事業			決算書
細 事 業 名	01 図書館管理運営事業			P.356
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
48,673千円	48,809千円	136千円	99.7 %	

### 【主要な事務・事業及び成果の概要】

生涯学習の拠点施設として様々な資料・情報を収集し提供するとともに、保育所・学校等と連携し子どもの読書活動の推進に努めた。

#### 【内訳】

図書館協議会委員報酬・費用弁償（委員10人）	91 千円
市立図書館6館の管理運営費	48,582 千円
・ 臨時・非常勤職員賃金（19人分）	26,006 千円
・ 図書購入費（AV資料含む）	12,081 千円
・ 雑誌新聞購入費	1,367 千円
・ 図書システム保守料	1,176 千円
・ その他経費（共済費、旅費、光熱水費、空調設備保守点検委託料、コピー機借上料他）	7,952 千円

#### 【具体的なサービス内容】

- ・ 資料（図書・AV資料・雑誌新聞）の収集・整理・保存・貸出
- ・ レファレンスサービス（読書案内、利用者の調査研究等の援助）
- ・ 図書館相互協力（主に京都府内の図書館との資料の貸借）
- ・ 市内の保育所、学校等への団体貸出
- ・ 読み聞かせ、おはなし会、お楽しみ会、科学あそび教室等の行事開催
- ・ 学校、幼稚園、保育所等との連携による読書推進事業
- ・ 読み聞かせボランティアの活用・育成
- ・ ホームページ・図書館（室）だより・市広報誌等を通じたの広報活動
- ・ 附属施設（あみの図書館集会室・研修室・情報創作室）の管理

### 【事務事業評価】

図書システムの統合に伴って図書の配送システムが確立したことにより、市内の資料の循環が円滑に図られ、予約・取寄せの件数及び個人の貸出点数が増加した。

#### 【主な特定財源】

寄附金 ふるさと応援寄附金	1,300千円
諸収入 豊淑文庫寄附金清算金	1,011千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	
事 業 名	06 障害者教育事業			決算書
細 事 業 名	01 障害者教育事業			P.342
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
239千円	249千円	10千円	95.9 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

孤立しがちな障害者の社会参加を促進するため、障害に応じた様々な体験学習や研修活動を実施し、障害者やその家族の交流を深める機会の提供に努めた。

○視覚障害者研修会 42 千円

- ・日 時 平成21年6月24日（水）
- ・場 所 丹後海と星の見える丘公園
- ・参加者 視覚障害者、その家族及びヘルパー 42人
- ・内 容 環境学習、紙ひもで作る籠体験実習

○聴覚障害者研修会 53 千円

- ・日 時 平成21年10月30日（金）
- ・場 所 アグリセンター大宮
- ・参加者 聴覚障害者、その家族及びヘルパー 26人
- ・内 容 応急手当講習、苔玉づくり体験実習

○障害者青年学級運営補助金（毎週土曜日、参加者：15人） 132 千円

○京都府視覚・聴覚障害者指導者研修会への参加を支援 12 千円

**【事務事業評価】**

障害者の貴重な学習と交流の場であり、対象者からも開催の要望が強い事業である。また、視覚・聴覚障害者は、高齢者が多く今後ますます必要性が高まる事業である。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費
事 業 名	07 成人教育事業		
細 事 業 名	01 成人教育事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
408千円	609千円	201千円	66.9 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

市民の多様な学習に対する要望に応えるとともに、市民の交流を促進するための学習機会を提供した。事業内容は、市民が気軽に参加できるよう配慮し、基礎的な技能を修得することを目的として実施した。

○わくわく講座 180 千円

- ・おとこの板前講座 5回（延べ 70人）
- ・デッサン講座 5回（延べ111人）
- ・市見聞セミナー 5回（延べ101人）
- ・デジカメ写真講座 5回（延べ 64人）
- ・さわやか健康講座 5回（延べ105人）
- ・ふるさと体験ツアー 3回（延べ 69人）

○IT講習会（久美浜・大宮・弥栄） 222 千円  
1講座（6回）× 6教室（延べ85人）

○初心者木工講座（峰山林業センター） 1回（11人） 6 千円

**【事務事業評価】**

市民のニーズや地域課題を的確に把握し、地域人材を活用した各種の生涯学習機会を提供するとともに、講座の内容の充実を図り、市民団体・サークル活動の育成を図る。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費
事 業 名	08 女性教育事業		
細 事 業 名	01 女性教育事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
486千円	511千円	25千円	95.1 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

男女共同参画社会を推進するため、女性団体を育成するとともに、女性の身近な場での学習と交流機会を提供することによって、女性の社会参加と組織化を促進することを目的として各種事業を実施した。

○女性講座の実施 (3講座)

- ・ 溝谷地区女性講座 3回 (延べ39人) 18 千円  
市内施設の見学、体験実習
- ・ 布花講座 (弥栄) 4回 (延べ38人) 30 千円
- ・ 手作りおやつ作り講座 (弥栄) 4回 (延べ44人) 28 千円

○京丹後市連合婦人会活動補助金 361 千円

○網野生活学校活動補助金 49 千円

**【事務事業評価】**

地域での学習機会を通じた女性の交流の場の充実を図り、女性組織の活性化と育成を目的とした事業を継続的に実施する必要がある。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局 / 社会教育課
-------	------------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費	
事 業 名	09 高齢者教育事業			決算書
細 事 業 名	01 高齢者教育事業			P.342
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
85千円	94千円	9千円	90.4 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

高齢者に生涯学習の機会を提供することによって、高齢者の生きがいを高めるとともに指導者を養成し、学習成果の地域への還元を図ることで、コミュニティの再生及び活性化に資することを目的として実施した。

○高齢者人材活用事業 85 千円

「生涯学習ボランティア養成講座」（4回） 20人

高齢者の優れた知識と技能を活かした地域活動を推進するため指導者の資質向上と実践活動を促進するための人材育成を目的とする。

講座① 「暮らしの学びで地域を結ぶ」

講座② 「高齢者のライフプランと生きがいづくり」

講座③ 「ボランティア活動の基礎知識」

ボランティア活動の心構えと基礎知識

京丹後市ボランティアセンターの取り組み

講座④ 「ボランティア活動による活力あるまちづくり」

NPO法人エコネット丹後、あみの読み聞かせボランティア、  
学校支援ボランティアの実践報告

**【事務事業評価】**

地域の学習活動に経験豊かな高齢者の人材を活用することができるシステムの構築と、自主的な運営を行う生涯学習サークルの育成が必要である。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費
事 業 名	10 家庭教育事業		
細 事 業 名	01 家庭教育事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
1,567千円	1,691千円	124千円	92.6 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

家庭教育は、すべての教育の原点であり、子どもの成長の基礎となるため、乳幼児期から就学前、思春期の各発達段階に応じた学習機会を提供するとともに、親子同士の交流を促進するための体験活動事業を実施した。また、引き続きPTA活動の支援を行った。

〔各事業の詳細〕

- 子育て講座 【報償費・旅費・需用費・役務費…400千円】

妊娠期、乳幼児期子育て講座	実施回数	3回	参加人数	94人
就学前、思春期子育て講座	実施回数	23回	参加人数	1,728人
高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業	実施回数	7回	参加人数	154人
  
- 家庭教育支援チーム事業（大宮、網野） 【報償費・需用費…415千円】

研修会・講演会・交流会等	実施回数	14回	参加人数	292人
アンケート実施、広報発行 他	実施回数	6回		
  
- 親子体験事業（大宮、久美浜） 【報償費、需用費、役務費…45千円】

ハロウィンパーティー、茶道体験 他	実施回数	7回	参加人数	152人
-------------------	------	----	------	------
  
- 京丹後市PTA協議会補助事業 【補助金…707千円】

京丹後市PTA研究大会の開催、各ブロック子育て講演会の開催、各種研修会の参加

**【事務事業評価】**

家庭教育は、「人づくり」の原点であり重要な学習課題である。京丹後市の将来を担う子どもたちを育む「豊かな家庭環境」を創るために、子育て支援だけではなく、「家庭」の在り方についての学習機会を提供するなど家庭教育事業は重要であり、今後も継続していく必要がある。

**【主な特定財源】**

府補 家庭教育支援基盤形成事業補助金 404千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	01社会教育総務費
事 業 名	11 芸術文化事業		
細 事 業 名	01 芸術文化事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
33,009千円	33,121千円	112千円	99.6 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活が送れるよう地域の生活文化を育て、ゆとりと潤いのある地域づくりを進めるため、関係機関と連携し、優れた文化芸術や伝統文化に親しむ機会の拡充と地域の文化活動の情報提供に努めた。

また、市民の継続的な文化活動を推進するため、文化団体等の活動と組織体制の整備を意図した京丹後市文化協会を設立し、地域の特色を活かした文化事業及び市民の自発的な文化活動の育成と支援を行った。

- 京丹後市小町ろまん短歌大会 473 千円  
日 時：平成21年11月15日（日） 会場：アグリセンター大宮  
投稿者：一般（456首）、高校生（336首）、中学生（313首）、小学生（421首）  
内 容：添削教室、各賞の発表・表彰、全選者による選評  
消耗品費（参考資料） 5 千円  
京丹後市小町ろまん短歌大会開催補助金 468 千円
- 公共ホール音楽活性化支援事業（サクソフォン四重奏） 1,462 千円  
アクティビティの実施（6月18日～28日）  
大宮第三小（66人）網野中（46人）神野小（56人）久美中（74人）  
カルテット・スピリタスコンサート（6月29日 京都府丹後文化会館）350人
- 本物の舞台芸術体験事業  
大宮中（404人）五箇小（146人）海部小（150人）吉原小（194人）郷小（106人）
- 財団法人京都府丹後文化事業団運営補助金 26,193 千円
- 文化協会活動費補助金 3,569 千円
- 丹後文化芸術祭補助金 1,312 千円

**【事務事業評価】**

心豊かな市民生活の向上を図るため、市民が優れた芸術文化に触れる機会の提供に努めた。また、市民の生きがいと地域の生活文化を育て、ゆとりと潤いのある地域づくりを推進するため、市民の自主的・自発的な文化活動の支援を進めた。

**【主な特定財源】**

- 諸収入 公共ホール音楽活性化事業助成金 310千円
- 諸収入 公演入場料 270千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------



予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	
事 業 名	01 峰山いさなご施設管理運営事業			決算書
細 事 業 名	01 峰山いさなご施設管理運営事業			P.360
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率	
7,690千円	7,810千円	120千円	98.4 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

市民の学習と交流を促進する機会の提供と施設の維持・管理を行った。

<利用者数>

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
林業センター	95	161	297	242	782	309	172	70	127	85	62	193	2,595
いさなご工房	59	83	151	369	201	132	155	183	85	56	168	86	1,728
いさなご工房コート	813	808	881	1,079	883	949	910	913	906	1,011	917	992	11,062
計	967	1,052	1,329	1,690	1,866	1,390	1,237	1,166	1,118	1,152	1,147	1,271	15,385

○管理者経費及び人材派遣経費

施設管理者報酬(1人)	1,998千円
共済費(社会保険料、労災保険料、雇用保険料)	264千円
管理運営業務人材派遣委託料	2,410千円

○管理運営経費

需用費(消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料)	2,152千円
役務費(通信運搬費、浄化槽法定検査手数料、火災保険料)	191千円
委託料(施設警備委託料、浄化槽維持管理委託料)	660千円
使用料及び賃借料(NHK受信料)	15千円

**【事務事業評価】**

林業総合センター(木工)、いさなご工房(陶芸)、いさなごコート(屋根付ゲートボール場)の管理・運営を行うとともに、施設を活用した各種事業を通して、市民の学習と交流の機会を提供することができた。

**【主な特定財源】**

使用料 峰山林業総合センター使用料等	1,312千円
諸収入 峰山林業総合センター木工教室等材料代	205千円

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	
事業名	02 マスターズビレッジ 管理運営事業			決算書
細事業名	01 マスターズビレッジ 管理運営事業			P.362
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
17,825千円	18,140千円	315千円	98.2 %	

### 【主要な事務・事業及び成果の概要】

市民の学習と交流を促進する機会の提供と施設の維持・管理を行った。

<利用者数>

(単位：人)

展示室	会議室	陶芸体験		染色体験		その他	ふれあい スポーツ広場 利用者数	合計
利用者数	利用者数	入場者数	内体験者数	入場者数	内体験者数			
2,340	685	1,503	743	1,764	828	2,134	9,700	18,126

#### ○施設管理運営委託費

マスターズビレッジ管理委託料 10,682 千円

#### ○施設維持管理経費

需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料等） 2,032 千円

役務費（通信運搬費、火災保険料等） 136 千円

委託料（施設警備委託料、草刈委託料等） 2,508 千円

使用料及び賃借料（コピー機借上料、清掃用具借上料等） 27 千円

原材料費（スポーツ広場用山土） 8 千円

#### ○体験事業経費

需用費（体験事業材料代） 1,237 千円

#### ○施設営繕経費

工事請負費（マスターズビレッジ法面整形工事） 1,065 千円

補償補填及び賠償金（工事に係る地主補償） 130 千円

### 【事務事業評価】

陶芸・染色実習室・展示・会議室・スポーツ広場の利用提供及び各種講座・教室を実施した。高齢者の生きがいづくり及び健康増進を図ることができた。

#### 【主な特定財源】

使用料 大宮ふれあい工房使用料	1,579千円
使用料 大宮ふれあいｽﾎﾟｰﾂ広場使用料	357千円
諸収入 大宮ふれあい工房関係諸収入	92千円

事業所管課

教育委員会事務局／社会教育課

予 算 科 目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費
事 業 名	03 たちばな会館管理運営事業		
細 事 業 名	01 たちばな会館管理運営事業		
決 算 額 ①	最 終 予 算 額 ②	不 用 額 (②-①)	執 行 率
1,449千円	1,466千円	17千円	98.8 %

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

網野町橘地区の生涯学習活動・コミュニティ活動の拠点施設として、図書室を中心に多目的ホール、会議室等における積極的な活動、利用促進を図った。なお、本施設は木津地区公民館を併設している。

- 需用費 568千円  
 消耗品費 14千円、燃料費 32千円、光熱水費 519千円、修繕料 3千円
- 役務費 79千円  
 通信運搬費（電話代）31千円、火災保険料 48千円
- 委託料 795千円  
 管理委託料 480千円（木津連合区）、特殊建築物・設備定期報告業務委託料 315千円
- 使用料及び賃借料 7千円  
 清掃用具借上料

＜利用実績＞

会議室等

区 分	利用回数	利用者数
会議室	69回	933人
料理実習室	29回	395人
和室1	96回	1,026人
和室2	91回	980人
多目的ホール	99回	1,458人
その他	1回	20人
合 計	385回	4,812人

図書室

開室日数	247日
利用者数	366人
1日平均利用者数	1.5人
貸出冊数	2,172冊

**【事務事業評価】**

施設の良い維持管理と効果的な活用ができた。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

予算科目	10教育費	05社会教育費	05社会教育施設費	
事業名	04 網野教育会館管理運営事業			決算書
細事業名	01 網野教育会館管理運営事業			P.362
決算額 ①	最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
6,477千円	6,564千円	87千円	98.6 %	

**【主要な事務・事業及び成果の概要】**

地域住民の交流や生涯学習活動、また、公民館活動の拠点施設として積極的に開放した。平成21年度から郷区に施設管理業務を委託したことに伴い、管理人が原則、平日の午前中に常駐している。

- 需用費 495千円  
 消耗品費 23千円、燃料費 37千円、光熱水費 428千円、修繕料 7千円
- 役務費 67千円  
 通信運搬費 49千円、浄化槽法定検査手数料 9千円、廃消火器処理手数料 3千円  
 火災保険料 6千円
- 委託料 627千円  
 管理委託料 480千円（郷区）、消防設備等保守点検委託料 12千円  
 浄化槽維持管理委託料 135千円
- 使用料及び賃借料 37千円  
 コピー機借上料 15千円、テレビ受信料 15千円、清掃用具借上料 7千円
- 工事請負費 屋根防水工事 5,123千円
- 備品購入費 128千円  
 調理室ガス給湯器更新 77千円、消火器（5本）購入 51千円

＜会議室等利用実績＞

区 分	利用回数	利用者数	区 分	利用回数	利用者数
1階和室	173回	1,409人	大ホール	217回	2,653人
調理実習室	18回	199人	全館	29回	1,307人
講義室	27回	240人			
2階和室	10回	66人	合 計	474回	5,874人

**【事務事業評価】**

施設の良い維持管理と効果的な活用ができた。

**【主な特定財源】**

事業所管課	教育委員会事務局／社会教育課
-------	----------------

## 平成22年度 京丹後市行政評価委員会 施策評価結果（案）

施策名	社会教育・スポーツの充実	担当部局
		教育委員会事務局
<b>「PLAN」</b>		
<b>1 施策目的について</b>		
<p>学習機会の提供とスポーツによる住民交流、その環境整備を図ることが明確に示されており、理解できる。</p> <p>しかし、社会教育の必要・不要の両論がある中で、市や市民をどのような状態に持っていきたいのか、将来ビジョンを明確に示すべきである。</p>		
<b>「CHECK」</b>		
<b>2 施策の達成度について</b>		
<p>内部評価結果（少し遅れている）は、おおむね妥当である。</p>		
<b>3 事業構成の有効性について</b>		
<p>内部評価結果（おおむね有効であった）は、妥当である。</p> <p>ただし、「成人教育事業」「女性教育事業」「高齢者教育事業」の内容は、公民館活動と重なるところがあり、また、参加者も重なっている可能性もあるので、整理が必要である。</p>		
<b>4 事業の優先度について</b>		
<p>優先度が高い事業・低い事業として選択された事業については、それぞれ選択された理由も納得でき、内部評価結果はおおむね妥当である。</p>		
<b>「ACTION」</b>		
<b>5 今後の施策展開について</b>		
<p>今後の施策展開は、おおむね的確に示されているが、次の点を踏まえ、より効果的な展開を図るべきである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 公民館長や公民館主事になってもらいにくい状況、また、市の財政が厳しい中で、公民館活動について、このまま旧町ごとの活動を継続するのではなく、市として何をどのように取り組むべきかを充分議論し、展開していくべきである。</li> <li>(2) 公民館活動は、地域や人間関係を学ぶことができる有意義な社会教育活動であるが、その中には、社会教育活動として疑問に感じる活動もあるため、活動に関わる人材の育成強化を図るべきである。</li> <li>(3) 公民館活動の中には、市の経費負担が僅かな事業がある。一般的に、市民の力だけで実施できると思われるこれらの事業に行政が関与する必要があるならば、行政が関与する意義を明確に持つておくべきである。</li> <li>(4) 前述の「3 事業構成の有効性」で示したことに取り組むべきである。</li> <li>(5) 図書館に関しては、効率性だけでなく専門性も重視しつつ、アウトソーシングの検討を図るべきである。</li> </ol>		
<b>その他</b>		
<p>将来、社会教育とスポーツをより充実させていくために、別施策とし、それぞれの成果検証を行いやすくしたほうがよい。</p>		